ユーザーマニュアル

システム名 ：i.Bou-GHS（JP-CN）

作成日：2013-6-25

バージョン：3

目次

序文 1
インストール説明書（32bit） 2
1. i.Bou-GHS（32 ビット）日本語版パッケージ内容: 2
2.i.Bou-GHS（32 ビット）日本語版インストール環境: 2
3. i.Bou-GHS（32 ビット）日本語版インストール順序: 2
4. i.Bou-GHS（32 ビット）日本語版アンインストール 14
5. i.Bou-GHS（32 ビット）日本語版アップグレード 14
6. XP 日本語 OS に対する注意事項 14
インストール説明書（64bit） 20
1. i.Bou-GHS（64 ビット）日本語版パッケージ内容: 20
2. i.Bou-GHS（64 ビット）日本語版インストール環境: 20
3. i.Bou-GHS（64 ビット）日本語版インストール順序: 20
4. i.Bou-GHS（64 ビット）日本語版アンインストール 29
5 . i.Bou-GHS（64 ビット）日本語版アップグレード 30
取扱説明 31
1. i.Bou-GHS へのログイン 31
2. i.Bou-GHS のメイン画面 31
3. 基本設定-基本 32
4. 例題を使った操作方法の習得 33
5. 基本設定ー成分 72
6. 基本設定ー原料 76
7. 基本設定ー製品 82
8. 基本設定ー試作品 92

9. GHS 情報－GHS 情報設定.....92
10. GHS 情報－製品 GHS 情報.....95
11. GHS 情報－試作品 GHS 情報.....104
12. 生産管理－製品生産管理.....104
13. データのバックアップ.....109
14. データの復元.....111
USB ドングルに対する取扱についての注意事項：.....115
連絡方法.....116

序文

この冊子はパッケージソフトウェア i.Bou-GHS(日本語)スタンドアローン版)の取扱説明書です。 i.Bou-GHS が備えている色々な機能をご体験していただければ、きっとこのシステムが省力化と効率化に大変貢献できる事をご理解いただけると存じます。

1 概要

a. パッケージソフトウェアの名称：i.Bou-GHS。

b. この取扱説明書では、一般業界用のバージョンを説明しております。

c. この取扱説明書では、クライアント PC の OS は Window-7 日本語版を、OFFICE は 2003 日本語版を使って説明しております。

2 定義

この取扱説明書で使用している技術的専門用語は、国連作成の Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals(GHS)に、準拠しています。

3 参考資料

この取扱説明書の参考資料：

a. Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals(GHS), Third revised edition

b. 弊社で独自開発した GHS モジュール

インストール説明書（32bit）

1. i.Bou-GHS（32 ビット）日本語版パッケージ内容：

1） i.Bou-GHS のスタンドアローン版 CD 1 枚
2） USB ドングル 1 個
3） ユーザーマニュアル 1冊

2.i.Bou-GHS（32 ビット）日本語版インストール環境：

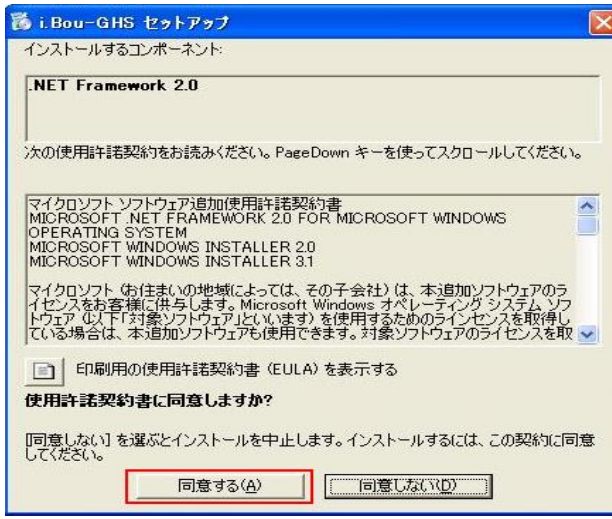
i.Bou-GHS の動作環境；

a. ハードウェア：CPU：800MHz 以上，ハードディスク：500MB 以上の空き容量，メモリ：512MB 以上。USB インターフェース：必要。
b. OS：Windows XP(32 ビット)、Windows 7(32 ビット)、Windows Server 2003(32 ビット)以上
c. Office：Office2003 以上が必要

3. i.Bou-GHS（32 ビット）日本語版インストール順序：

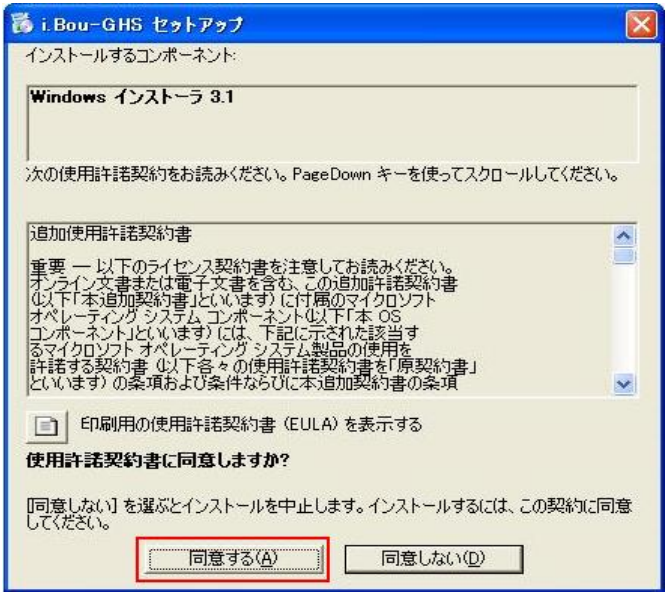
1） 最初に PC 上のアンチウィルスソフトを停止してください。
2） オプティカルドライブに i.Bou-GHS のスタンドアローン版 CD(64 ビット)を入れる。
3） 下図の赤枠で囲った setup ファイルをダブルクリックして下さい。

4） 下図のような.Net Framework 2.0 のインストール画面が現れます。



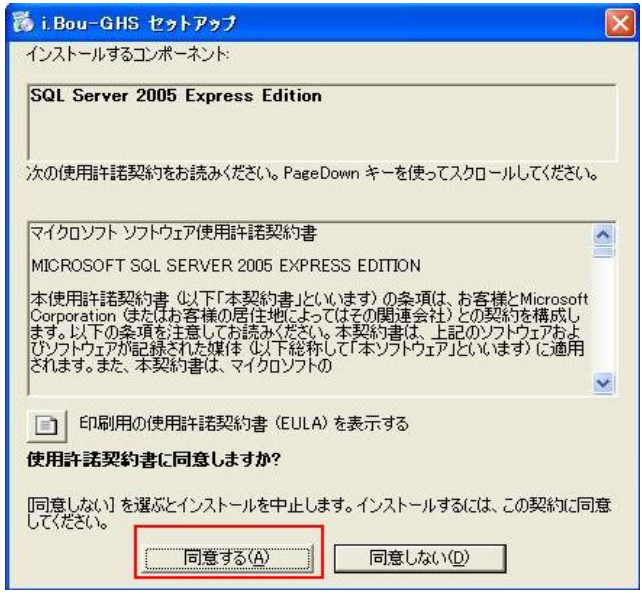
同意するをクリックしてください。i.Bou-GHS の稼働のために.Net Framework 2.0 コンポーネントが必要です。パソコンに.Net Framework 2.0 が既にインストールされているかどうかを、システムは自動的に検査し、もし既にインストールされているなら、自動的に次のステップ(5)にジャンプします。

5)下図のように、Windows Installer 3.1 コンポーネントのインストール画面が現れます。



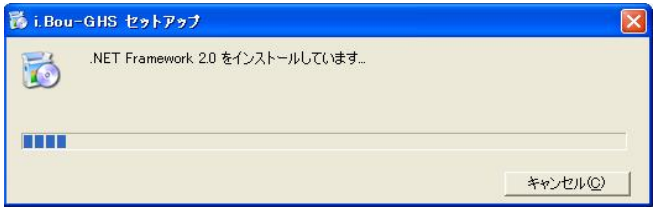
同意するをクリックしてください。i.Bou-GHS のインストールのために Windows installer 3.1 コンポーネントが必要です。パソコンに Windows installer 3.1 コンポーネントが既にインストールされているかどうかを、システムは自動的に検査し、もし既にインストールされているなら、自動的に次のステップ(6)にジャンプします。

6)下図のような SQL Server 2005 Express Edition のインストール画面が現れます。

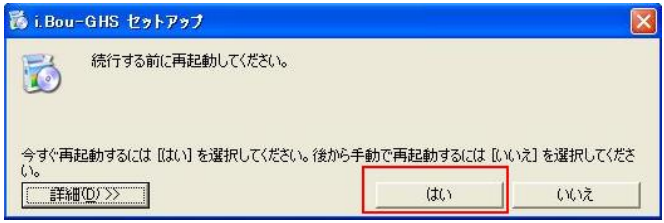


「同意する」をクリックしてください。i.Bou-GHS の稼動には SQL Server2005 Express Edition データベースコンポーネントが必要です。パソコンに SQL Server2005 Express Edition が既にインストールされているかどうかを、システムは自動的に検査し、もし既にインストールされているなら、自動的に次のステップ（7）にジャンプします。

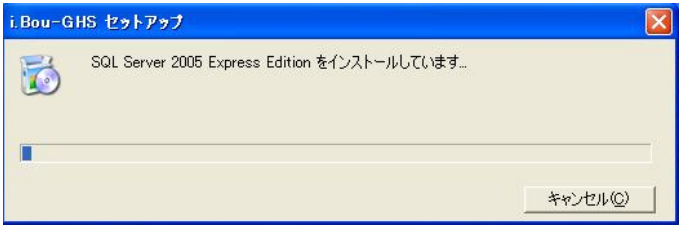
7)以上のステップを完了すると、.Net Framework 2.0,と Windows Installer 3.1 のインストールがはじまります。



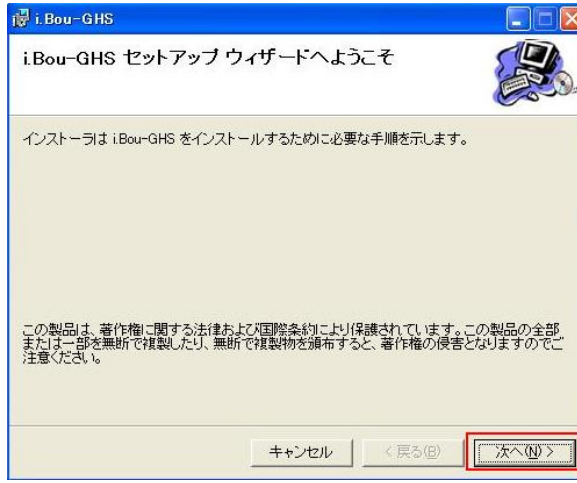
8)上記のソフトウェアコンポーネントのインストールが完了すると、システムは下図のように再起動を要求してきますので、すぐに「はい」をクリックしてください。



9)下図のように、システムが SQL Server2005 Express Edition コンポーネントのインストールを開始します。



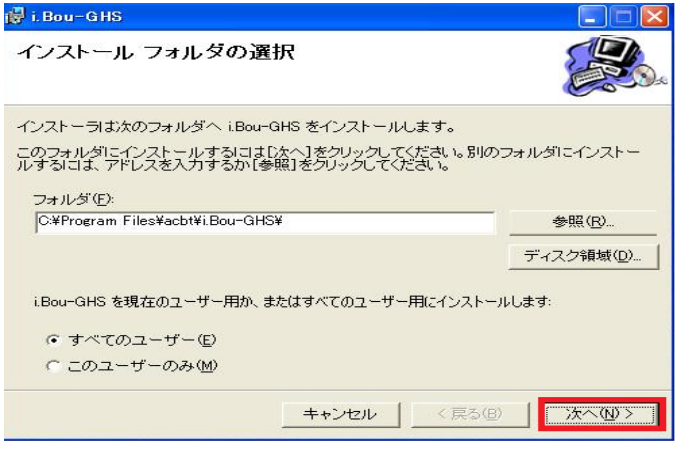
10)インストールが完了すると、下図のように i.Bou-GHS セットアップウィザードが現れます。「次へ」をクリックしてください。



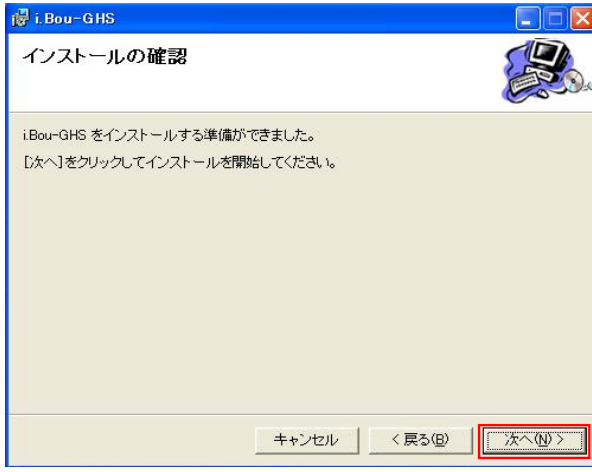
11） 下図の画面が現れます。

上図の赤枠で囲まれた部分のデータを絶対変更しないでください。もし変更するとインストールに失敗します。「次へ」をクリックしてください。

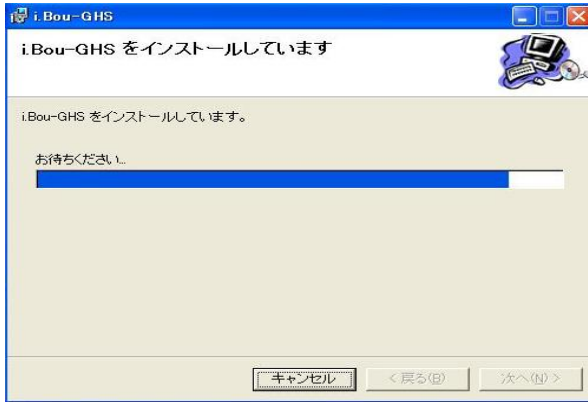
12） 下図のようにインストールフォルダの選択画面が現れます。指定されたインストール場所を変更せずに、直接「次へ」をクリックしてください。



13)下図のようにインストールの確認画面が現れます。「次へ」をクリックしてインストールを開始してください。



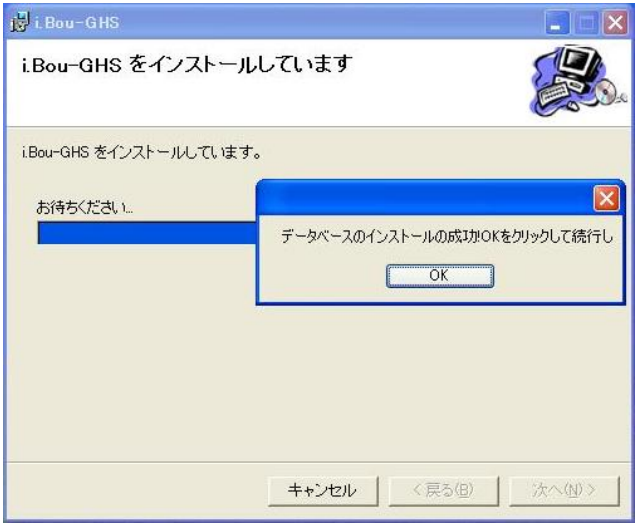
14）インストールが完了するまで待ってください。



15 ） 下図のように”データベースのインストールの成功！

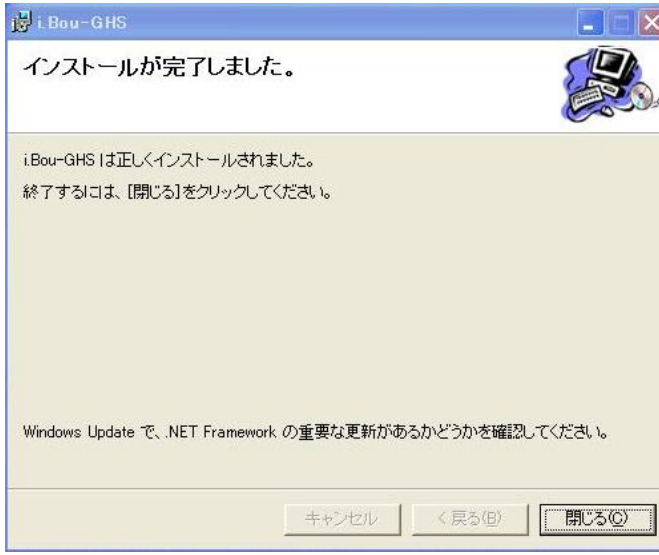
OK をクリックして続行してください“と表示されますので、「OK」をクリックして下さい。Windows 7 では、「データベースのインストールの成功！OK をクリックして続行してください」の表示が、画面下のタスクバーに、

こんな感じで隠れていますので、右側のアイコンをクリックしてください。



16)　インストール完了の画面が現れたら「閉じる」をクリックして下さい。これで i.Bou-GHS 32 ビット日本語版のインスト

ールは完了しました。



17) i.Bou-GHS はパソコンのデスクトップに のショートカットが作られています。また，スタートメニューのすべてのプログラムから i.Bou-GHS スタンドアローン版のアイコンを見つけていただいても結構です。そしてこのアイコンをクリックする前に、まず付属の USB ドングルを、パソコンの USB インターフェースに差し込んでください。もし USB ド

ングルを差し込まずにアイコンをクリックすると、下図のエラー警告が現れます。

USB ドングルのドライバーのインストールに時間が必要ですので、しばらくお待ちください。

18）USB ドングルのドライバーがインストールされてから、

のアイコンをダブルクリックすると、下図のような画面が現れます。これで i.Bou-GHS のインストールは完了しました。

注意事項：**i.Bou-GHS を使用中は、必ず USB ドングルを接続したままにして下さい。USB ドングルを使用中に抜いてしまうと、システムは使用できなくなります。**i.Bou-GHS の操作に関しては、添付の取扱説明書を参照してください。操作に右クリックを使用するケースが結構あること、配合比の登録には i.Bou-GHS のデータベースの基本構造に対する理解が必要なことなどから、先ず取扱説明書を熟読していただくのが、操作方法習得の早道です。

4. i.Bou-GHS（32 ビット）日本語版アンインストール

スタートメニューーコントロールパネループログラムの追加と削除　と選択し、i.Bou-GHS　プログラムを選択して「削除」をクリックして下さい。

5. i.Bou-GHS（32 ビット）日本語版アップグレード

パソコンがインターネットに接続していれば、システムが新しいアップグレードの有無を自動で検査し、インストールします。

6. XP 日本語 OS に対する注意事項

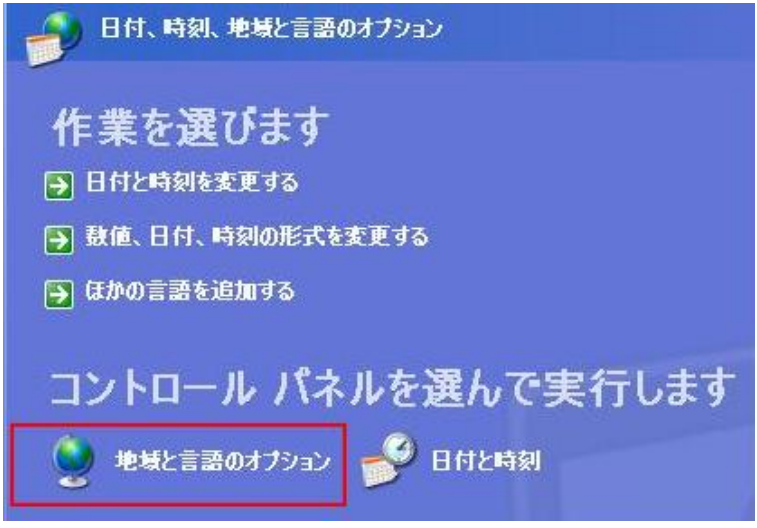
XP 日本語 OS では、成分名などのように中国語で入力されて

いるデータが、画面上で文字化けする可能性があります。この場合は、パソコンに下記の設定を適用してください。

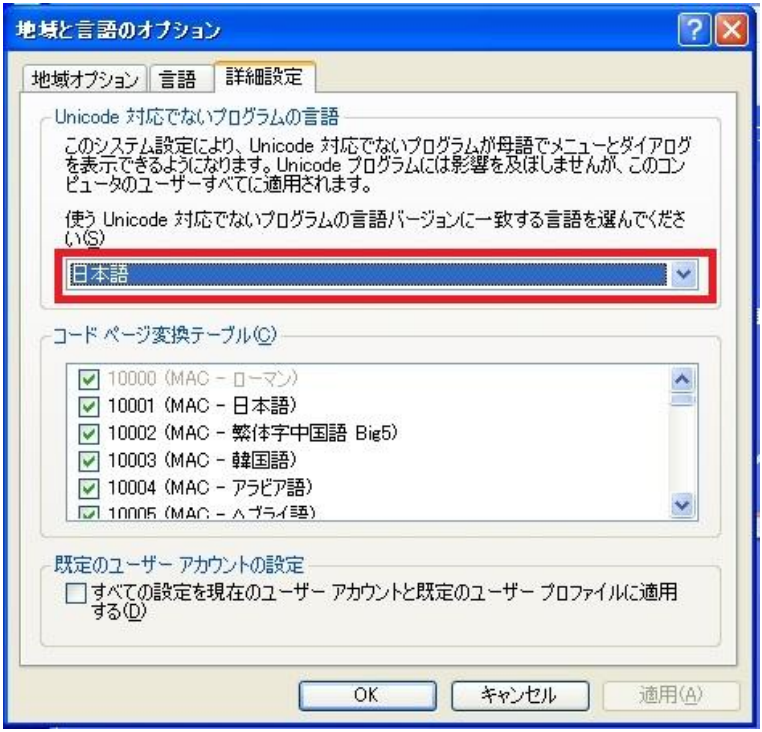
a） スタート　－　コントロールパネルと選択

b） 日付、時刻、地域と言語のオプションを選択

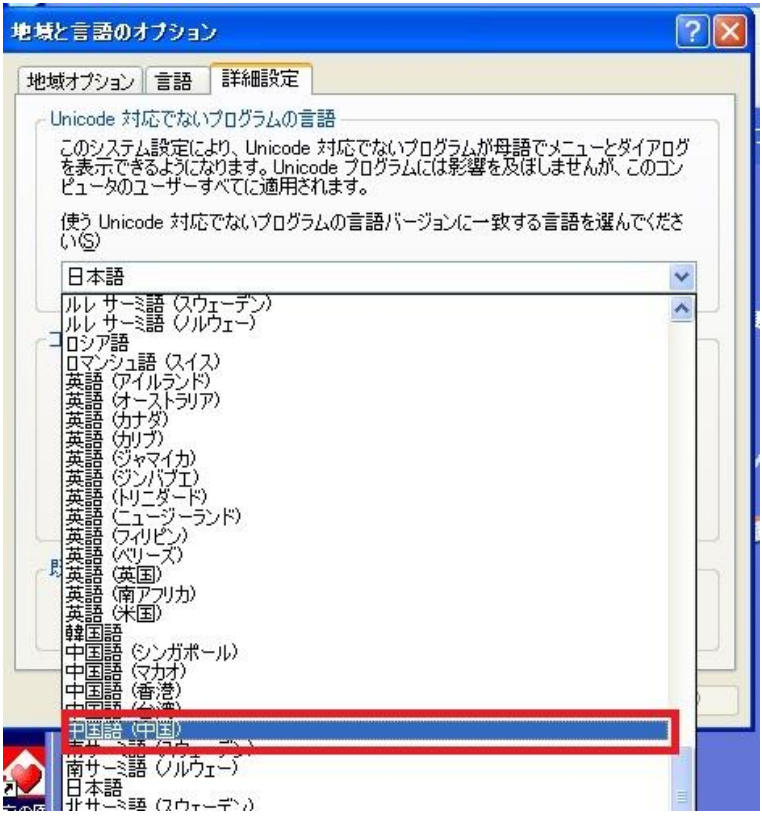
c） 作業選択画面で地域と言語のオプションを選択



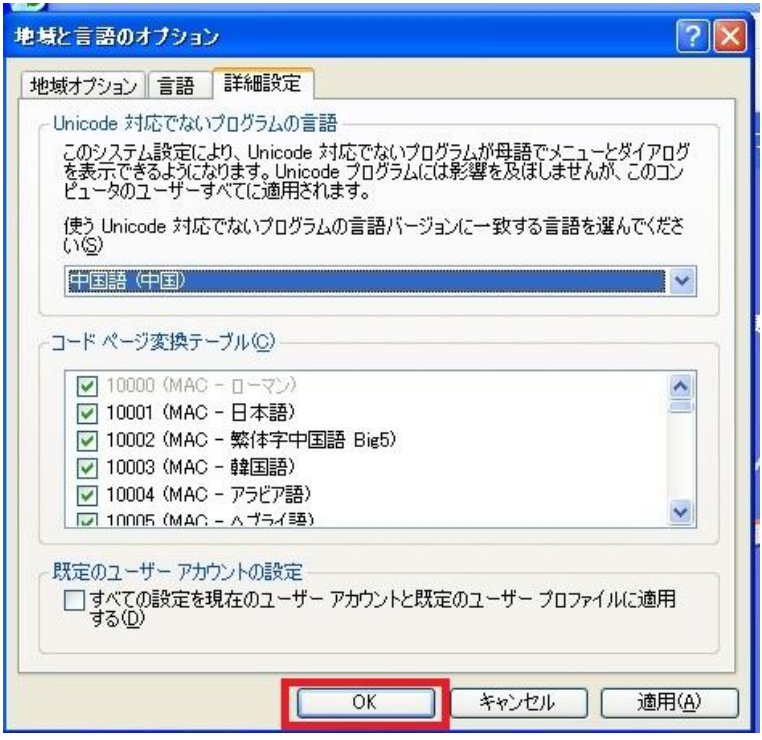
d） 詳細設定タブの「Unicode 対応でないプログラムの言語」のプルダウンメニューをクリック


地域と言語のオプション
地域オプション
言語
詳細設定
Unicode 対応でないプログラムの言語
このシステム設定により、Unicode 対応でないプログラムが母語でメニューとダイアログを表示できるようになります。Unicode プログラムには影響を及ぼしませんが、このコンピュータのユーザーすべてに適用されます。
使う Unicode 対応でないプログラムの言語バージョンに一致する言語を選んでください(S)
日本語
コード ページ変換テーブル(C)
10000 (MAC - ローマン)
10001 (MAC - 日本語)
10002 (MAC - 繁体字中国語 Big5)
10003 (MAC - 韓国語)
10004 (MAC - アラビア語)
既定のユーザー アカウントの設定
すべての設定を現在のユーザー アカウントと既定のユーザー プロファイルに適用する(D)
OK
キャンセル
適用(A)

e） 中国語（中国語）を選択



f) 「OK」をクリックする。再起動を要求されるので、パソコンを再起動してください。



以上の設定で、画面上の中国語の文字化けは解消されます。

インストール説明書（64bit）

1. i.Bou-GHS（64 ビット）日本語版パッケージ内容：

1） i.Bou-GHS のスタンドアローン版 CD 1 枚
2） USB ドングル 1 個
3） ユーザーマニュアル 1冊

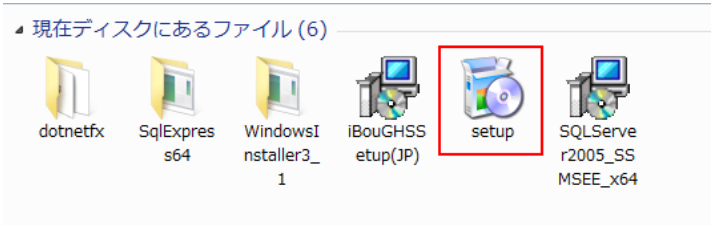
2. i.Bou-GHS（64 ビット）日本語版インストール環境：

i.Bou-GHS の動作環境；

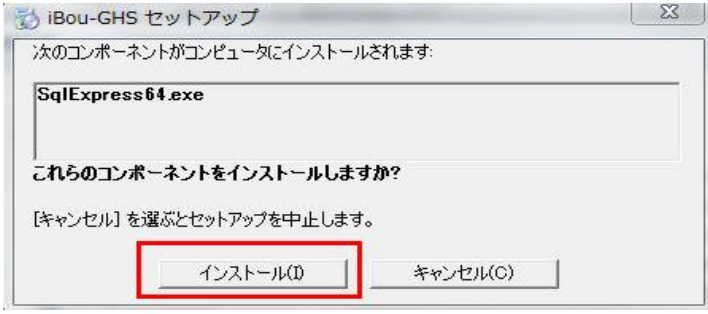
a. ハードウェア：CPU：800MHz 以上，ハードディスク：500MB 以上の空き容量，メモリ：512MB 以上。USB インターフェース：必要。
b. OS：Windows 7(64 ビット)
c. Office：Office2003 以上が必要

3. i.Bou-GHS（64 ビット）日本語版インストール順序：

1）最初に PC 上のアンチウィルスソフトを停止してください。
2）オプティカルドライブに i.Bou-GHS のスタンドアローン版 CD(64 ビット)を入れる。
3）下図の赤枠で囲った setup ファイルをダブルクリックして下さい。

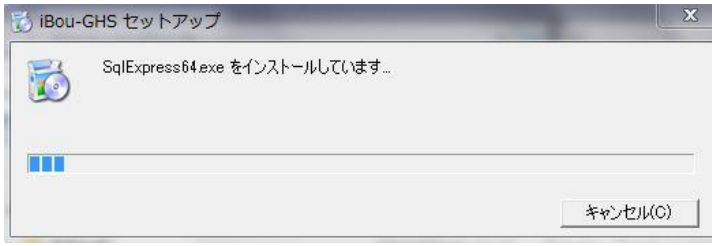


4） 下図にある SqlExpress64 インストール画面が現れます。



「インストール」をクリックしてください。i.Bou-GHS の稼動には SqlExpress64 コンポーネントが必要です。パソコンに SqlExpress64 が既にインストールされているかどうかを、システムは自動的に検査し、もし既にインストールされているなら、自動的に次のステップ（6）にジャンプします。

5） 下図のように、システムが SqlExpress64 コンポーネントのインストールを開始します。

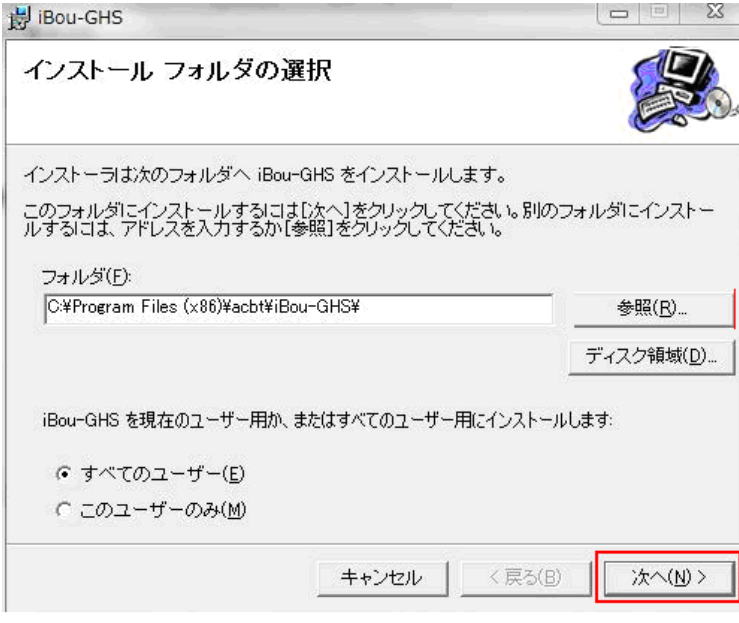


6）インストールが完了すると、下図のように i.Bou-GHS セットアップウィザードが現れます。

7)「次へ」をクリックすると下記の画面が現れます。

上図の赤枠で囲まれた部分のデータを絶対変更しないでください。もし変更するとインストールに失敗します。「次へ」をクリックしてください。

8).下図のようにインストールフォルダの選択画面が現れます。指定されたインストール場所を変更せずに、直接「次へ」をクリックしてください。



9）下図のようにインストールの確認画面が現れます。「次へ」をクリックしてインストールを開始してください。

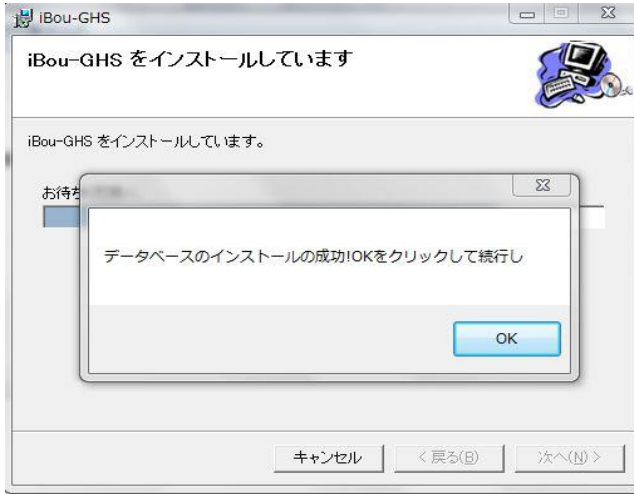
10）インストールが完了するまで待ってください。

11）下図のように「データベースのインストールの成功！OK をクリックして続行してください」と表示されますので、

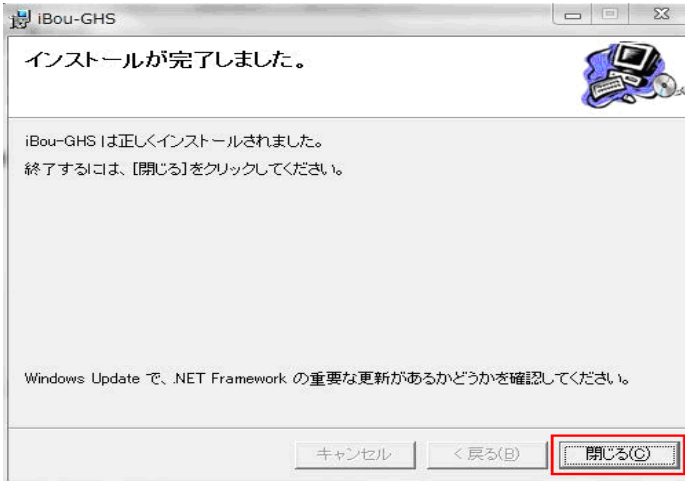
「OK」をクリックして下さい。Windows 7 では、「データベースのインストールの成功！OK をクリックして続行してくださ

い」の表示が、画面下のタスクバーに、

こんな感じで隠れていますので、右側のアイコンをクリックしてください。



12）インストール完了の画面が現れたら「閉じる」をクリックして下さい。これで i.Bou-GHS 64 ビット日本語版のインストールは完了しました。



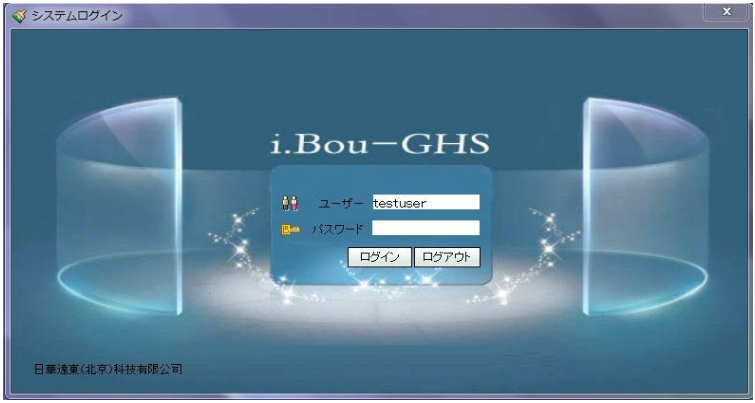
13). i.Bou-GHS はパソコンのデスクトップに のショートカットが作られています。また，スタートメニューのすべてのプログラムから i.Bou-GHS スタンドアローン版のアイコンを見つけていただいても結構です。そしてこのアイコンをクリックする前に、まず付属の USB ドングルを、パソコンの USB インターフェースに差し込んでください。もし USB ドングルを差し込まずにアイコンをクリックすると、下図のエラー警告が現れます。

USB ドングルのドライバーのインストールに時間が必要ですので、しばらくお待ちください。

14）**i.Bou-GHS のアイコンを右クリックして、プルダウンメニューから管理者として実行を選択して左クリックして i.Bou-GHS を開いてください。** 注：アイコンを直接ダブルクリックして開くと、アプリケーションに対する Windows 7 のセキュリティ権限設定の理由で開けないことが多いです。

15） 下記の画面が現れると、i.Bou-GHS 日本語版スタンド

アローンのインストールは完成です。

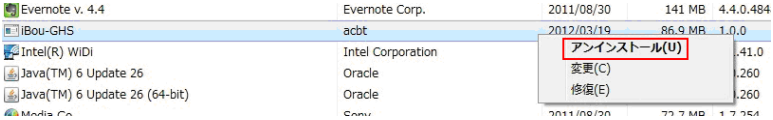


注意事項：**i.Bou-GHS を使用中は、必ず USB ドングルを接続したままにして下さい。USB ドングルを使用中に抜いてしまうと、システムは使用できなくなります。**i.Bou-GHS の操作に関しては、添付の取扱説明書を参照してください。操作に右クリックを使用するケースが結構あること、配合比の登録には i.Bou-GHS のデータベースの基本構造に対する理解が必要なことなどから、先ず取扱説明書を熟読していただくのが、操作方法習得の早道です。

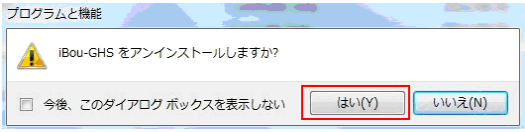
4. i.Bou-GHS（64 ビット）日本語版アンインストール

スタートメニューーコントロールパネループログラムと機能　と選択し、i.Bou-GHS　プログラムを右クリックして、アンインストー

ルをクリックして下さい。



アンインストールの確認画面が現れますので、「はい」をクリックして暫く待つとアンインストールが完了します。

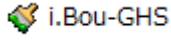


5．i.Bou-GHS（64 ビット）日本語版アップグレード

パソコンがインターネットに接続していれば、システムが新しいアップグレードの有無を自動で検査し、インストールします。

取扱説明

1. i.Bou-GHS へのログイン

USB ドングルをパソコンの USB インターフェースに差し込み、デスクトップ上の i.Bou-GHS のアイコン 

をダブルクリックしてください。 i.Bou-GHS のアイコンは、パソコンのスタートープログラムーi.Bou-GHS と、たどることでも可能です。下図のような登録画面が出てきます。
ディフォルトのログイン名は admin, パスワードは 1qazxsw2 で設定されてますので、最初のログインにはこれらを入力してください。

2. i.Bou-GHS のメイン画面

メイン画面の左側のメニュー構成は下記の通りです:

1、システム設定　1）ユーザー管理　2）権限設定

2、基本設定　1）規格　2）成分設定　3）原料定義、中間品定義　4）製品定義、製品類型、製品品種　5）試作品定義　6）原料配合比、中間品配合比、試作品配合比、製品配合比

3、GHS 情報　1）GHS 言語選択、SDS 注意書き、会社情報　2）製品 GHS 分類、製品 GHS 分類審査、製品 SDS 管理、製品 SDS 審査　3）試作品 GHS 分類、試作品 GHS 分類審査、試作品 SDS 管理、試作品 SDS 審査。

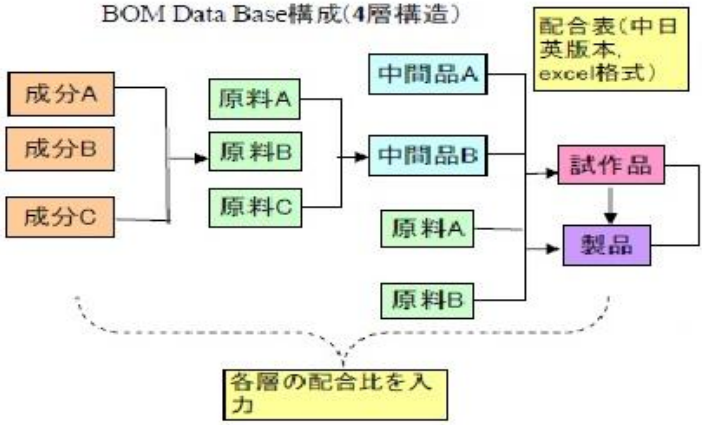
4、生産管理　1）製品生産指令

3. 基本設定-基本

a) 規格：　パッケージの入れ目のことです。貴社のパッケージの入れ目を、ここに登録してください。製品の GHS ラベルを作成する時に、製品定義で規定された入れ目を GHS ラベルに打

ち出します。

i.Bou-GHS では、成分、原材料、中間品、試作品、製品の関係は下記のようになっております。



即ち、データベース上、原料は成分のみから構成されております。中間品は原料のみから構成されております。 製品は中間品のみ、又は原料のみ、又は原料と中間品から構成されております。 従い、もし成分 A の SDS やラベルを作成したい場合は、成分 A が 100%の配合比で原料 A を定義し、原料 A が 100%の配合比で製品 A を定義してください。

4. 例題を使った操作方法の習得

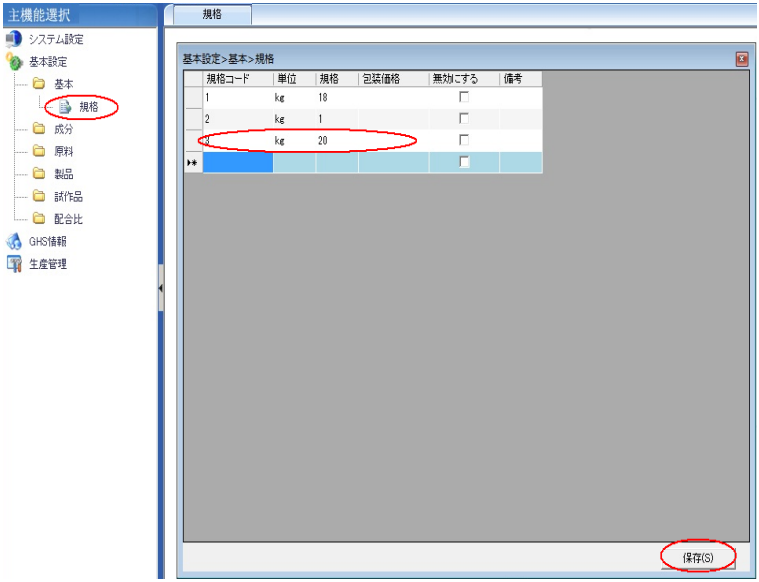
i.Bou-GHS の操作方法をご理解いただくために、下記の混合物の例題を用いて操作を説明しますので、取敢えずこの内容に従って操作してみてください。

例題： 製品が原料のみから構成されている混合物

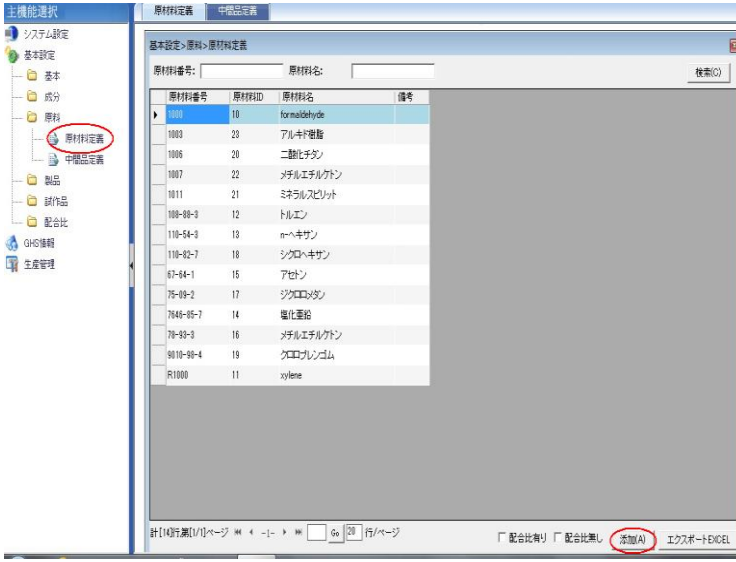
下図のように、製品名 Product が、原料のトルエン 50%とキシレン 50%から構成された混合物の、GHS 分類、SDS の作成、GHS ラベルの作成の方法を説明します、

1. 製品名”Product”の容器の入れ目（i.Bou-GHS では“規格”という単語を使っている）を登録します。左側のメニューの基本設定-基本-規格を左クリックすると、右側に登録画面が出る。登録画面の規格コードの真下の欄をダブルクリックするとカーソルが出てきて入力可能になるので、ここに“3”と入力。 単位の真下の欄をダブルクリックして”kg”と入力。規格の真下の欄をダブルクリックして”20“と入力。最後に右下の「保存」ボタンを左クリッ

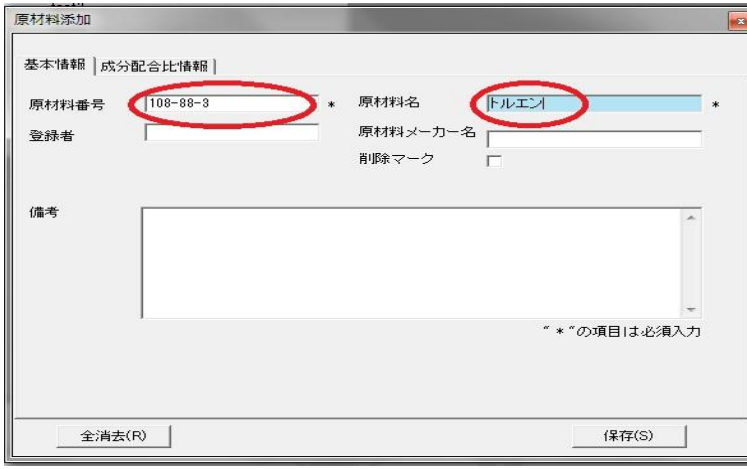
ク。



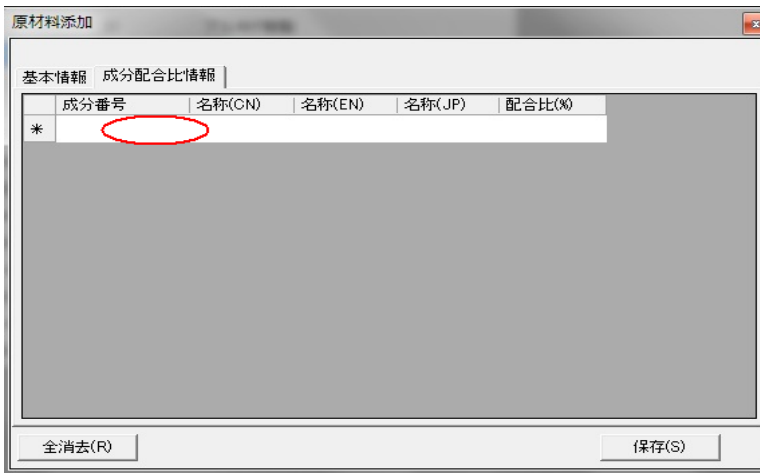
2. 原材料“トルエン”と原材料“キシレン”を登録する。
左側のメニューの原材料定義を左クリック。右側の登録画面の右下にある「添加 A」ボタンを左クリック。



3.「原材料添加」フォームが出てくる。「基本情報」タブの画面にある「原材料番号」に”108-88-3”、「原材料名」に”トルエン”と入力する。（**注:カタカナは全角で入力する。**）



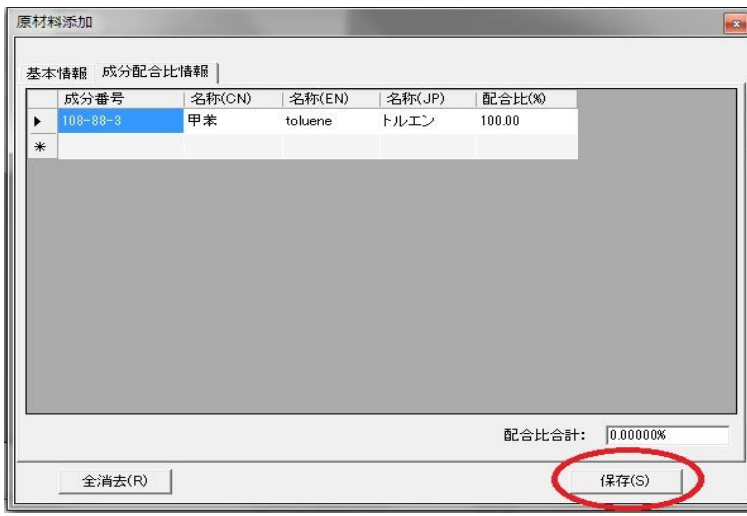
4.「成分配合比情報」タブの上を左クリックし、マウスのポインタを下図の赤丸の場所に移動させ、**右クリック**する。



5. すると「成分選択」の画面が飛び出てくる。画面左下の「検索」の右隣欄で「成分番号」を選び、その右隣欄に成分の CAS 番号”108-88-3”を入力する。そしてキィボードの **ENTER キィー**を押す。

6. 指定した成分が検索されて、青色の行表示が出る。その行の左端に☑を入れて、右端の配合比の欄をダブルクリックして“100”を入力する。 マウスポインタを「インポート」ボタンに合わせ、左クリックする。

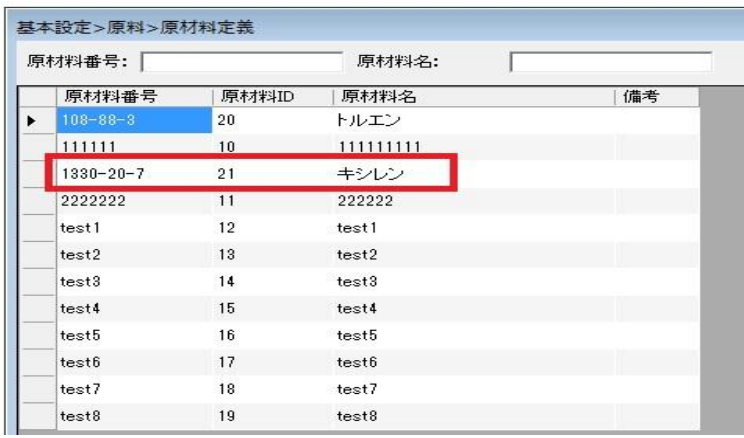
7. マウスのポインタを「保存」ボタンに合わせ、左クリックする。



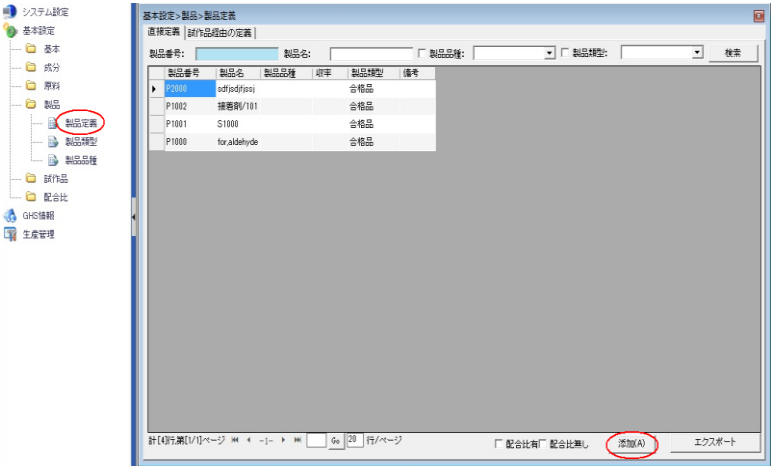
8. “この原料情報を添加しました”というフォームが飛び出すので、「OK」にマウスのポインタを合わせ左クリックする。

9. “修正された配合比情報の保存：1 行”というフォームが出てくるので「OK」を左クリックする。これで原材料“トルエン”の登録が完了。

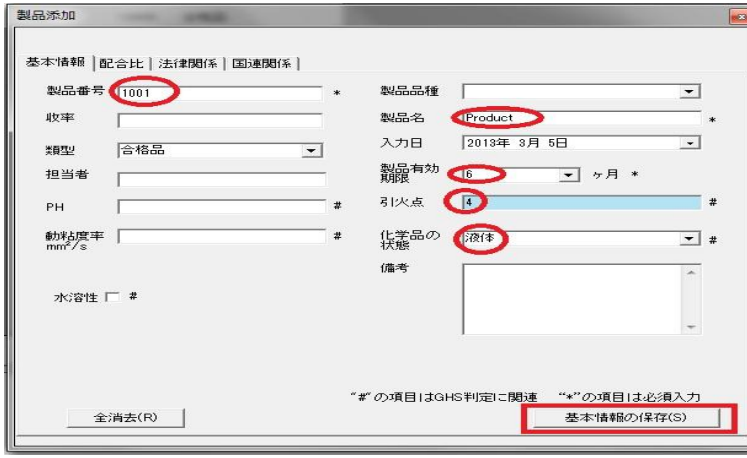
10. 同様の方法で原材料“キシレン”を登録する。



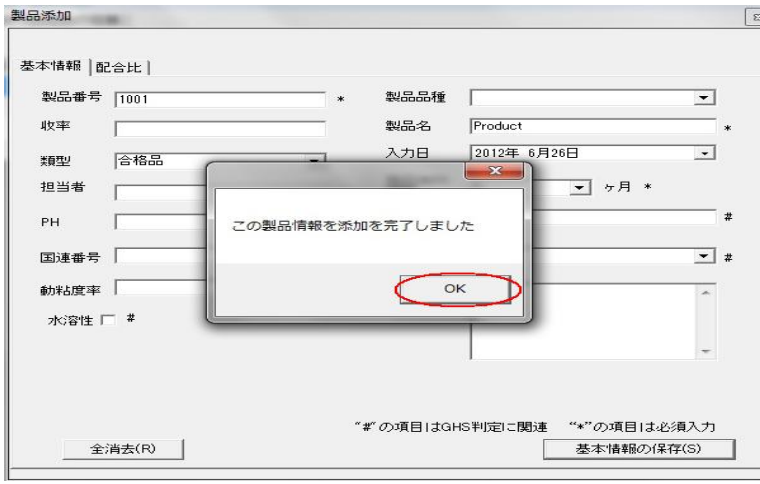
11. 製品”Product”を登録する。画面左のメニュー「製品定義」を左クリックする。製品定義の画面が右側に表示されるので、右下の「添加」ボタンを左クリックする。



12. 「基本情報」タブの製品番号に“1001”、製品名に“Product”と入力し、製品有効期限は6ヶ月を選択する。引火点に“4”、化学品の状態は「液体」を選択、そして「基本情報の保存」ボタンを左クリックする。

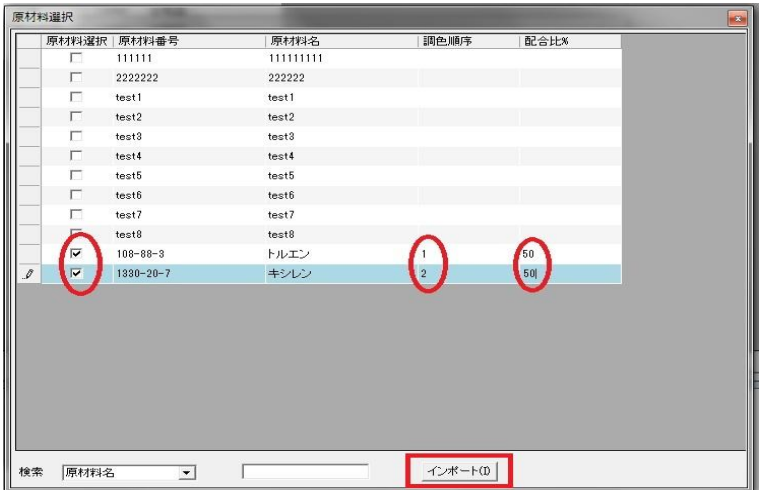


13. “この製品情報を添加を完了しました”とのフォームが飛び出すので、「OK」を左クリックする。

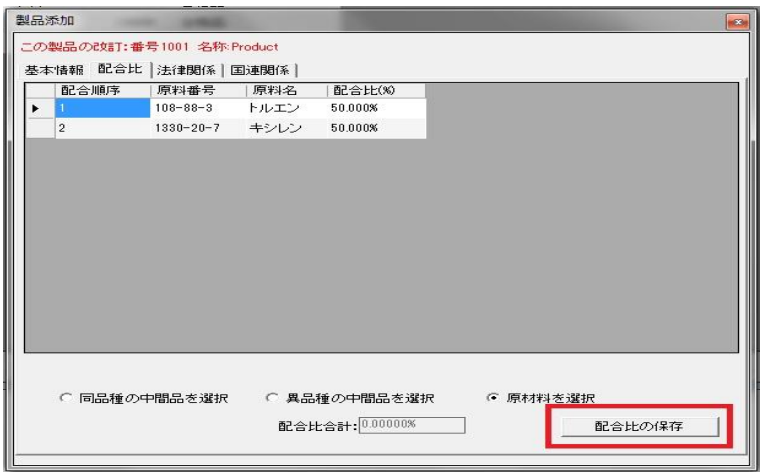


14.「配合比」タブを左クリック。右下の「原材料を選択」にマウスのポインタを合わせ左クリック。

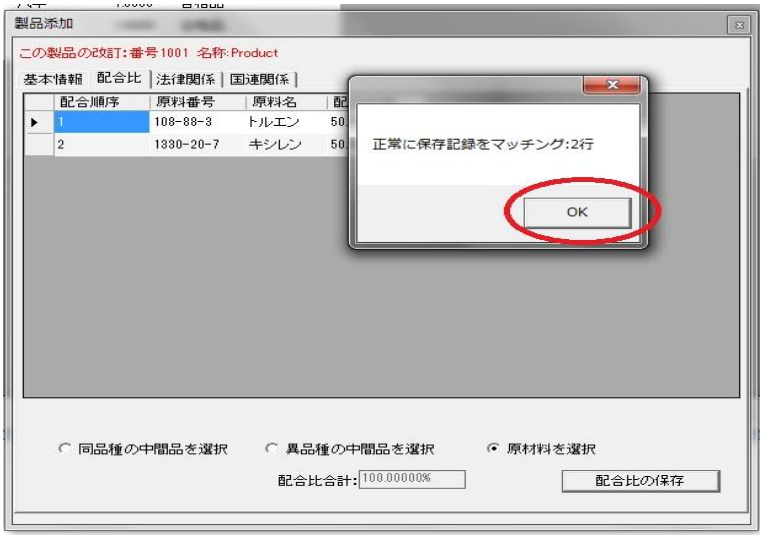
15.「原材料選択」画面が飛び出てくるので、トルエンを選んで、行の左端を左クリックして☑にする。調色順序に“1”を入力。配合比%に“50”と入力。次に、キシレンを選んで、行の左端を左クリックして☑にする。調色順序に“2”を入力。配合比%に“50”と入力。最後にマウスのポインタを右下の「インポート」ボタンに合わせ、左クリックする。



16.「配合比の保存」にマウスのポインタを合わせ、左クリック。



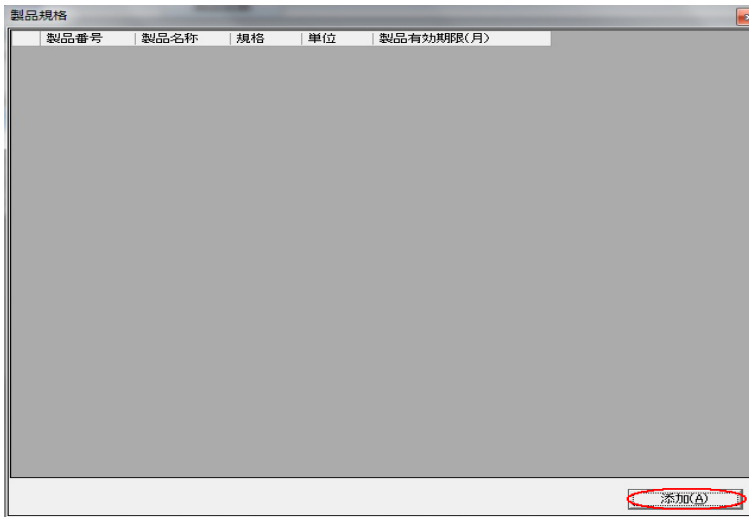
17. “正常に保存記録をマッチング:2 行”というフォームが飛び出すので、「OK」を左クリック。



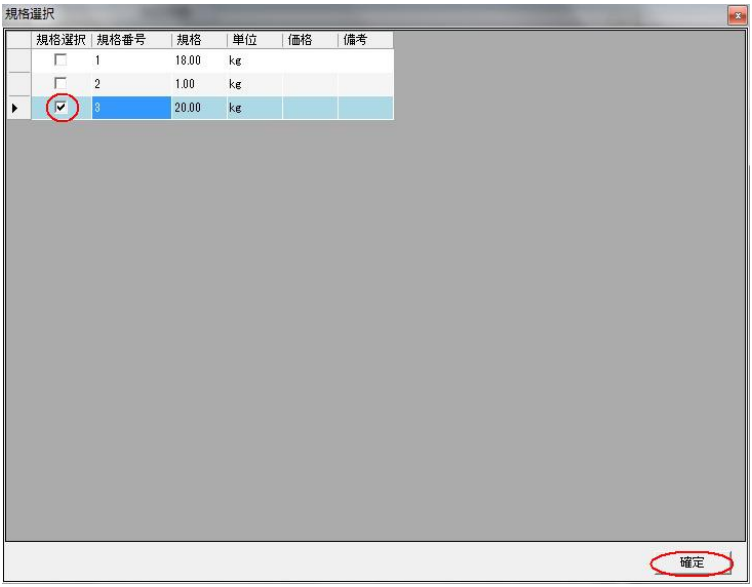
18. 「国連関係」タブにマウスのポインタを合わせ左クリック。「国連番号」に 3469 を入力、「国連輸送名」に涂料或涂料的相关材料(包括涂料稀释剂或冲淡剂)を入力、「国連分類」に 3、「容器等級」に II を入力する。そして「国連関係の保存」を左クリックする。

19 製品”Product”の規格を登録する。マウスのポインタを製品”Product”の上に合わせ、**右クリック**する。プルダウンメニューが表示されるので「製品規格の添加」を左クリックする。

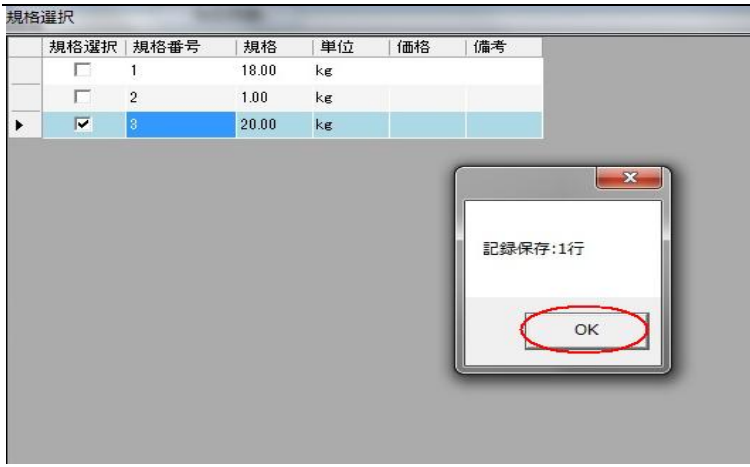
20.「製品規格」の画面が表示されるので、右下の「添加」ボタンを左クリック。



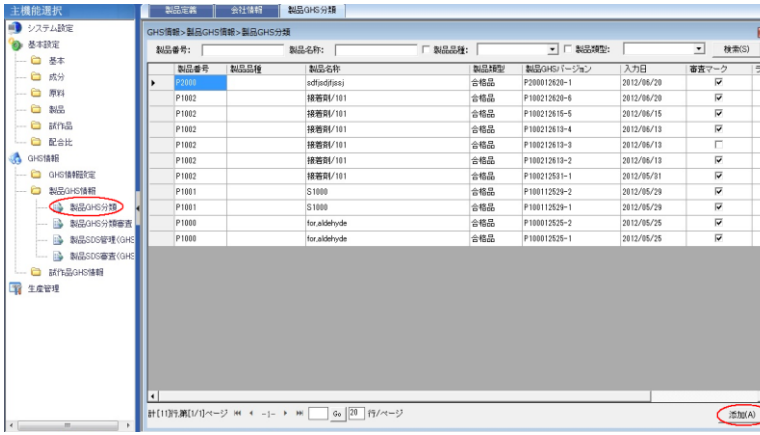
21. 既に登録済の規格が表示されるので、規格番号3の行の規格選択に左クリックして☑を入れる。そして右下の「確定」ボタンを左クリック。



22. “記録保存:1 行”というフォームが飛び出すので、「OK」を左クリック。



23. 製品”Product”の GHS 分類を行う。左側のメニューの「製品 GHS 分類」を選び左クリック。右側に製品 GHS 分類の画面が表示されるので、画面右下の「添加」ボタンを左クリック。



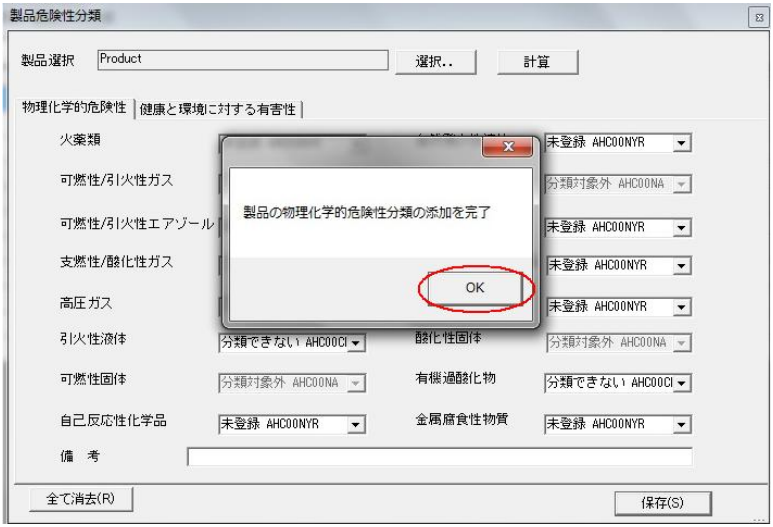
24. “製品危険性分類”のフォームが表示されるので、マウスポインタを「選択...」に合わせ左クリックする。

25. 「製品選択」の画面が表示されるので、製品”Product”の行の左端の”選択“を左クリック。

26.「製品危険性分類」のフォームの「計算」ボタンにマウスポインタを合わせ左クリック。システムが危険性分類の計算を終わるまで 1-2 秒待つ。フォームの右下の「保存」ボタンを左クリック。

27.“製品の物理化学的危険性分類の添加を完了”のフォーム

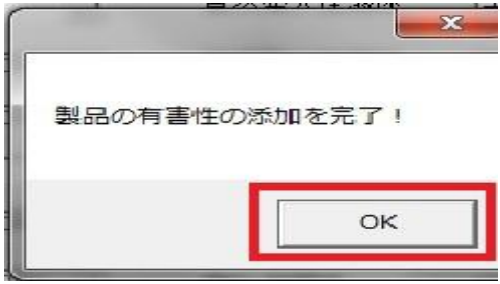
が出てくるので、「OK」を左クリック。



28. “この製品の、健康と環境に対する有害性分類の添加を完了！”とのフォームが出てくるので、「OK」を左クリック。

29. ” 製品の有害性の添加を完了！“のフォームが出てくるので、

「OK」を左クリック。これで製品”Product”の GHS 分類が登録された

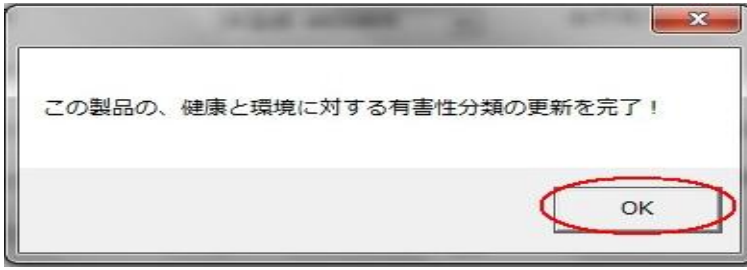


30. 次に製品”Product”の GHS 分類審査を行う。左側のメニューの「製品 GHS 分類審査」を左クリック。右側の製品 GHS 分類審査画面から製品”Product”を選択し、**右クリック**する。プルダウンメニューが表示されるので、「この製品の GHS 分類の審査」を左クリック。

31. “製品 GHS 分類審査”のフォームが出てくるので、内容に訂正がないならば、マウスポインタを右下の「審査」に合わせて左クリックする。

32. ”この製品の物理化学的危険性分類の更新を完了！“のフォームが出てくるので、「OK」を左クリック。

33. “この製品の、健康と環境に対する有害性分類の更新を完了！”のフォームが出てくるので、「OK」を左クリック。



34. “製品の GHS 分類の審査を完了！”のフォームが出てくるので、「OK」を左クリック。

35. 製品”Product”の行の上にマウスポインタを合わせて、**右クリック**。プルダウンメニューが出てくるので、「GHS ラベルの生成」を左クリックする。

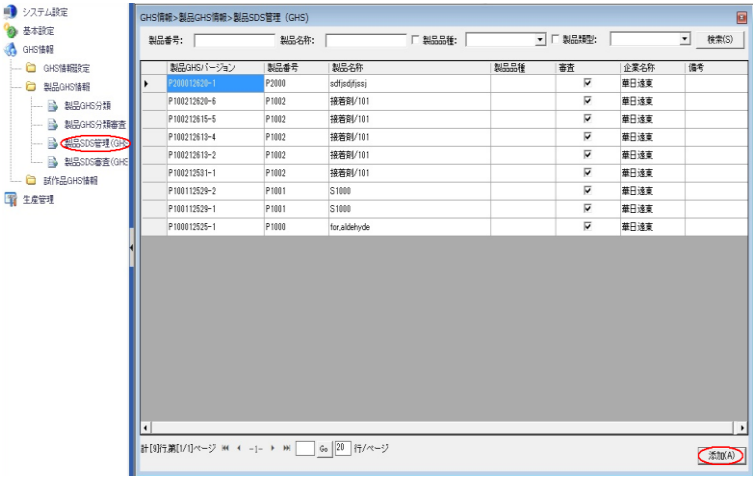
36. 言語選択フォームが出てくるので「日本語」を選んで「確定」ボタンを左クリック。

37. “生成 GHS 标签”のフォームが出てくるので、フォーム右下の

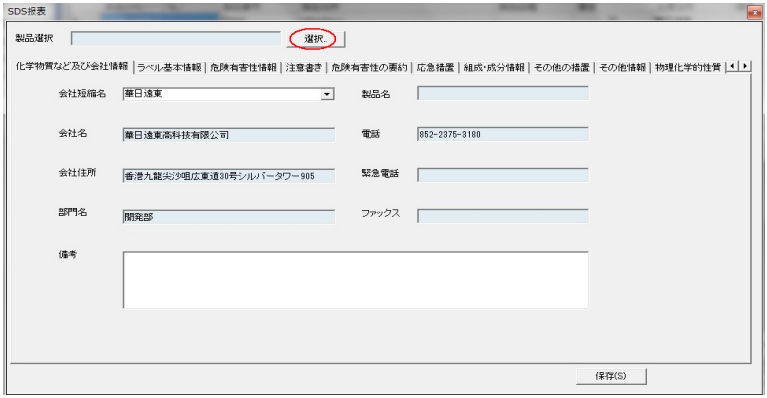
「保存」ボタンを左クリック。

38. “製品ラベルの生成を完了しました！”のフォームが出てくるので、「OK」ボタンを左クリック。

39. 次に SDS を作成する。左側のメニューの「製品 SDS 管理（GHS）」を左クリック。右側に製品 SDS 管理（GHS）の画面が表示される。画面の右下の「添加」ボタンを左クリック。

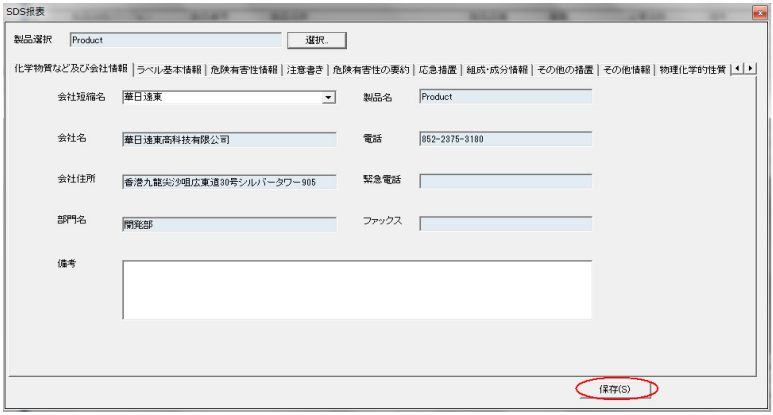


40. “SDS 报表”のフォームが出てくるので、「選択...」ボタンを左クリック。



41. 产品危害性分类选择”のフォームが出てくる。製品名称”Product”の行の左端の「選択」ボタンを左クリック。

42. 右下の「保存」ボタンを左クリック。

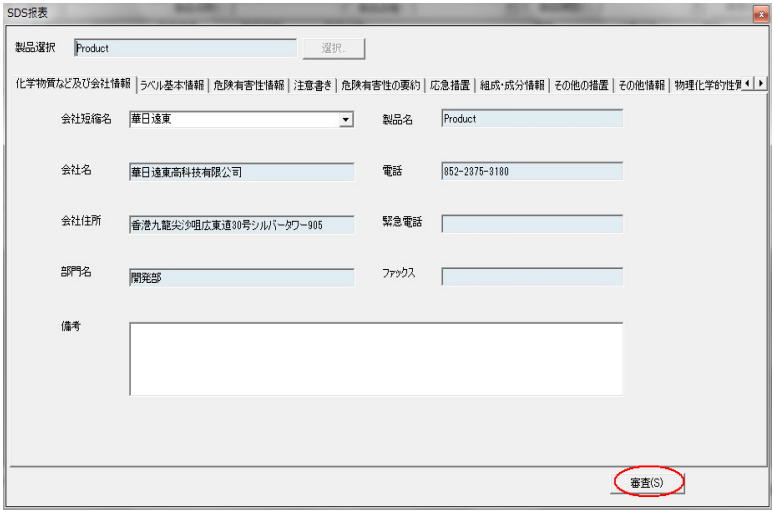


43. “この製品の、SDS 情報の保存を完了しました！”のフォームが出てくるので、「OK」を左クリック。

44. マウスポインタを右上の☒に合わせ、左クリックして“SDS 報表”のフォームを閉じる。

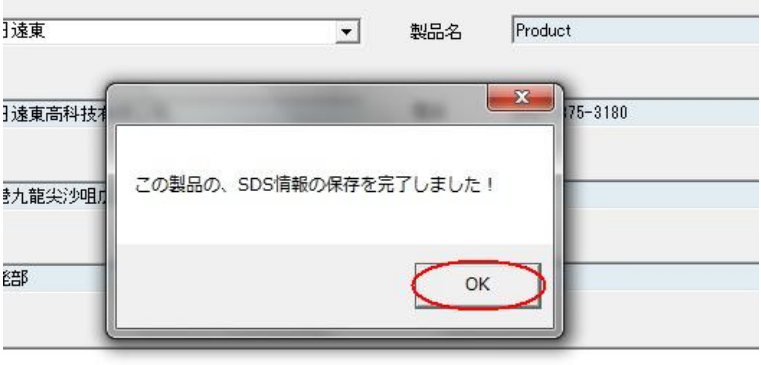
45. 左側のメニューの「製品 SDS 審査（GHS）」を左クリック。右側に製品 SDS 審査（GHS）画面が表示される。製品名称”Product”の行にマウスポインタを合わせて、右クリック。プルダウンメニューが表示されるので、「審査」を左クリック。

46. “SDS 报表”のフォームが出てくる。フォームの右下の「審査」ボタンを左クリック。

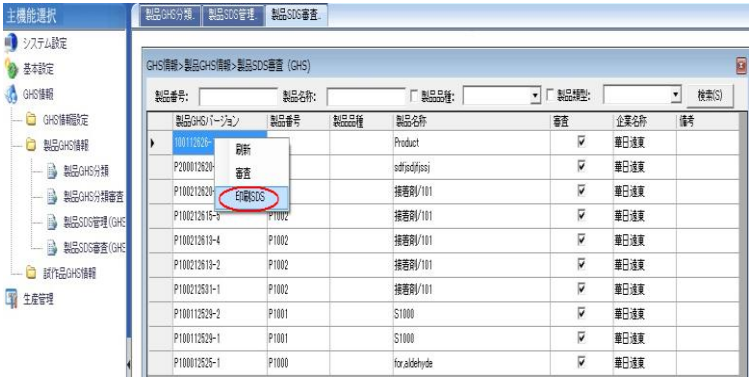


47. “この製品の SDS 情報の審査を完了しました！”のフォームが出てくるので、「OK」を左クリック。

48. “この製品の、SDS 情報の保存を完了しました！”のフォームが出てくるので、「OK」を左クリック。



49. 製品 SDS 審査(GHS)画面に戻り、製品名称"Product"の行にマウスポインタを合わせ、**右クリック**する。プルダウンメニューが表示されるので、「印刷 SDS」を左クリック。



50. 言語選択のフォームが出てくるので、日本語を選び、右下の「確定」ボタンを左クリック。

51. エクセル表で作成された製品"Product"の SDS がエクスポートされる。

Product	10011335-1	2013/3/5

製品安全データーシート

1 化学物質など及び会社情報

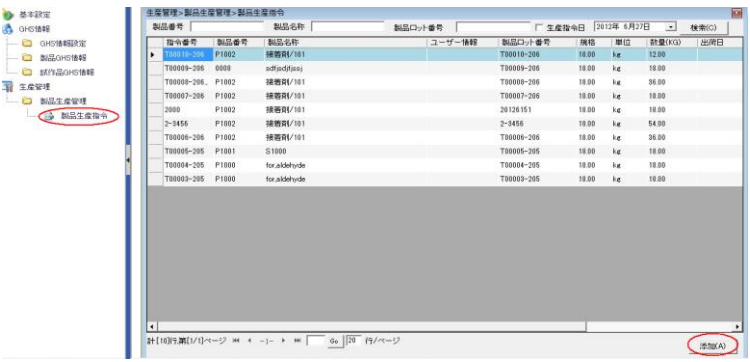
製品名称：	Product
会社名	華日遠東高科技有限公司
担当部門	
住所	香港九龍尖沙咀広東道30号シルバータワー
連絡先電話番号	
緊急連絡先	
FAX 番号	
作成日	2013/3/5

2 危険有害性の要約

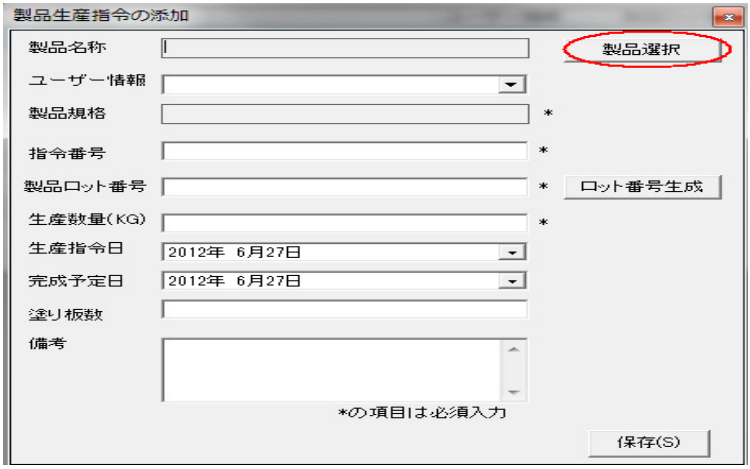
GHS分類

引火性液体:区分2
急性毒性 経口:区分外
急性毒性 経皮:区分外
急性毒性 吸入(気体):分類できない
急性毒性 吸入(蒸気):区分4

52. 次に GHS ラベルを印刷する。左側メニューの「製品生産指令」を左クリック。製品生産指令の画面が右側に表示される。画面右下の「添加」ボタンを左クリック。

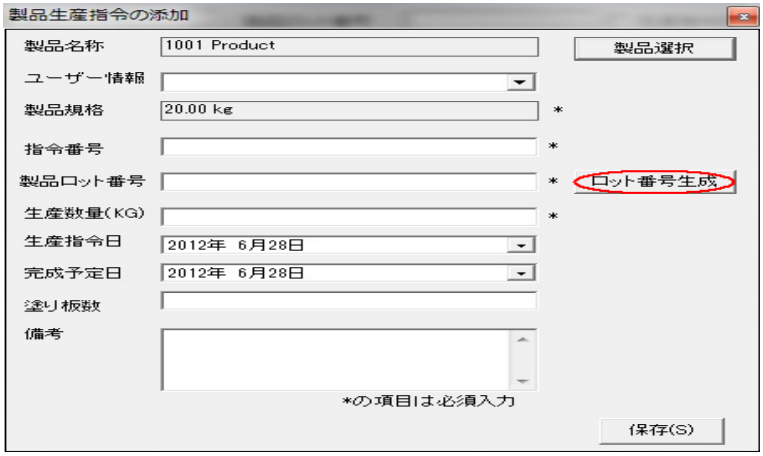


53. ”製品生産指令の添加“のフォームが出てくる。フォームの右上の「製品選択」ボタンを左クリック。

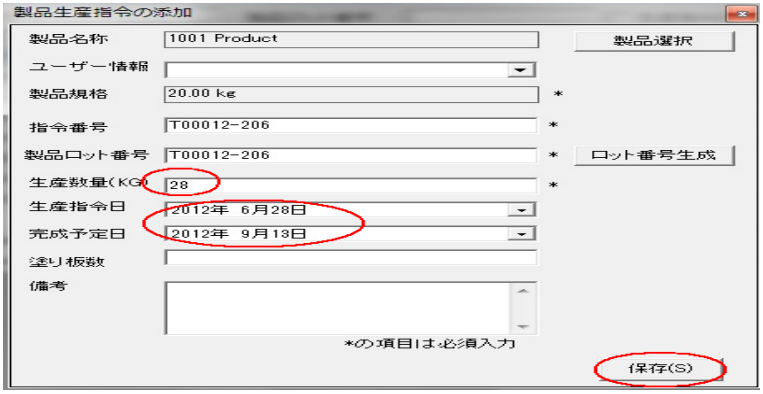


54. 「製品リスト」フォームが出てくる。製品名称’Product”の行の左端にある「選択」ボタンにマウスポイントを合わせ、左クリック。

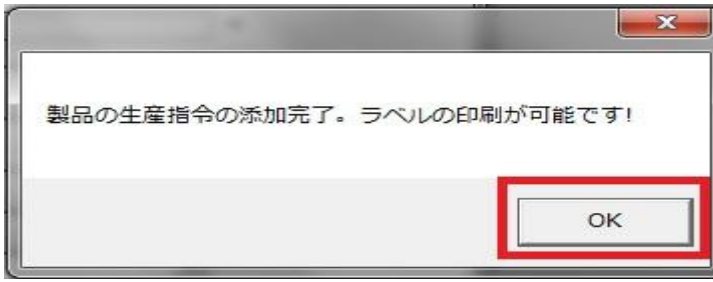
55. “製品生産指令の添加”のフォームに戻るので、「ロット番号生成」ボタンを左クリック。



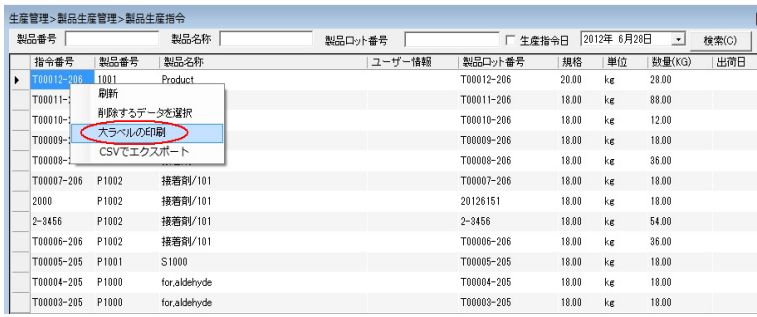
56. 生産数量(KG)に”28”と入力。右下の「保存」ボタンを左クリック。



57. ”製品の生産指令の添加完了。ラベルの印刷が可能です！“のフォームが飛び出すので、「OK」を左クリック。

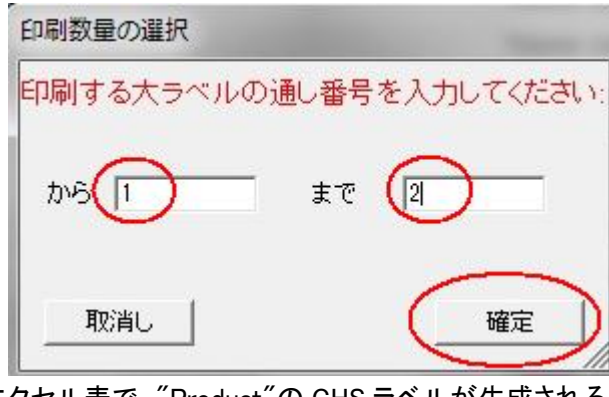


58. 製品生産指令の画面に戻り、製品名称”Product”の行にマウスポインタを合わせて、右クリック。プルダウンメニューが表示されるので、「大ラベルの印刷」を選択し左クリック。



59. 言語選択のフォームが出てくるので、日本語を選択して「確定」ボタンを左クリック。

60. ”印刷数量の選択“のフォームが出てくるので、”1“から”2“までと入力。「確定」ボタンを左クリック。



61. エクセル表で ″Product″の GHS ラベルが生成される。

試作品番号:
製品番号:1001

1

Product

T00003-303

20.00kg

有害成分

生産日:2013年3月5日

使用期限:2013年9月5日

危険

引火性の高い液体および蒸気
吸入すると有害
皮膚刺激
強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
長期継続的的影響によって水生生物に毒性

【予防策】
使用前に取扱説明書を入手すること
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
容器を密閉しておくこと
(静電気に敏感な物質を積みおろす場合は)(製品が危険有害な気体を発生させるような爆発性の場合は)容器および受器を接地すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/…(製造者/供給者または規制所管官庁が指定するその他の)機器を使用すること
火花が発生しない工具を使用すること
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
(必要なとき以外は)環境への放出を避けること
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと
取り扱い後は…(製造業者、供給者又は所管官庁が指定する取扱後に洗浄する体の部分)よく洗うこと
(製造者/供給者または規制所管官庁が指定する)保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること
(製造者/供給者または規制所管官庁が指定する)保護眼鏡/保護面を着用すること

【応急措置】
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師に連絡すること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
皮膚(または髪)に付着した場合:汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師にれんらくすること。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
特別な処置が必要である(このラベルの……を参照)(製造者/供給者または規制所管官庁が指定する洗浄剤を記載しても良い)。
(緊急の処置が必要な場合)特別な処置が必要である(このラベルの…を参照)
(木が)リスクを増大させる場合)火災の場合には、消火するために???(製造者/供給者または規制所管官庁が指定する適当な手段)を使用すること。
漏出物を回収すること。

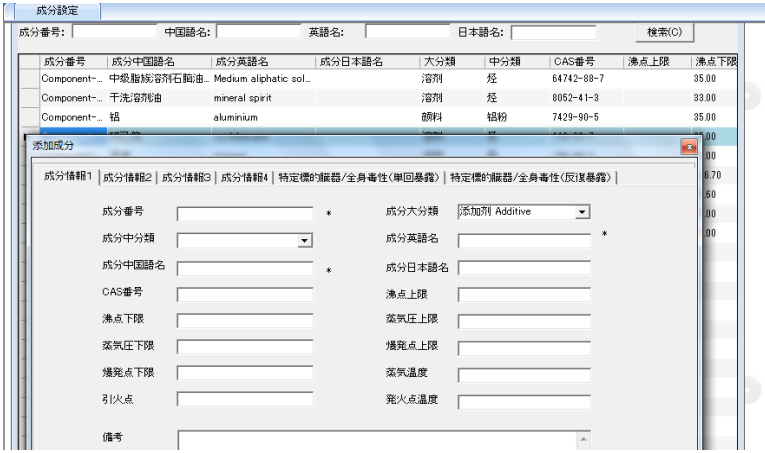
【廃棄】
内容物/容器を(国際/国/県都道府県/市町村の規制に従って)???に廃棄すること。
【採管】
涼しい所/換気の良い場所で採管すること。施錠して採管すること。

ご苦労様でした！　これで、取敢えず一連の基本的操作は完了しました。 各機能の詳しい内容は、この後に続く説明を参照して

ください。

5. 基本設定−成分

i.Bou-GHS は既に GHS 基準に従って、約 3000 種類の成分データが入力されています。 これらのデータは、日本の独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）が分類した結果を取り入れて作成しています。成分データは、追加・変更が可能です。ですから、もしシステムに登録が必要な成分データがあれば、その成分の基本情報を入力してください。



画面の右下の「添加」ボタンを押すと、新規添加成分画面が現れます。又、成分画面の成分にカーソルを合わせ、右クリックして「成分の編集」を選択すると、入力済の成分の編集画面が表示されます。成分を入力される時は、下記の点にご注意ください。

「成分の編集」タブ

成分番号：数字もしくは英数字であればどのような組み合わせでも入力可能ですが、CAS 番号を入力するほうが、後々の操作には便利です。入力必須項目です。

成分大分類：塗料業界での使用を想定して添加剤、溶剤、樹脂、顔料、未定を意味する待定の 5 種類が固定されていますが、あえて入力する必要はありません。

成分中分類： 中分類は大分類にリンクしていて、内容は固定されていますが、あえて入力する必要はありません。。

成分英語名、成分中国語名、成分日本語名： 成分に該当する各言語の名称を、記入してください。

CAS 番号： CAS 番号を記入してください。CAS 番号が存在しない場合は、入力不要です。

沸点上限、沸点下限：単位は℃です。数字のみ記入してください。沸点データが一つしかない時は、沸点下限に入力して下さい。

蒸気圧上限、蒸気圧下限：単位は Pa(パスカル)です。数字の

み記入してください。蒸気圧データが一つしかないときは、蒸気圧上限に入力して下さい。

爆発点上限、爆発点下限：数字のみ記入してください。

蒸気温度：単位は℃です。数字のみ記入してください。

引火点：単位は℃です。数字のみ記入してください。

発火点温度：単位は℃です。数字のみ記入してください。

ACGIH 値：単位は ppm です。数字のみ入力してください。

[成分情報2] タブ

PRTR 対象 0.1：化管法の特定第一種指定化学物質を指します。

1： 化管法の第一種指定化学物質を指します。

2： 化管法の第二種指定化学物質を指します。

このタブの火薬類から特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）タブまで全て GHS に規定されている物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性の GHS 分類項目です。GHS 分類結果に従って入力して下さい。

酸素当量係数： 支燃性/酸化性ガスの判定計算に用いる係数です。

[成分情報3]タブ

(ACGIH)LD50 経口(数値)：LD50 のデータがある場合に数字のみ入力して下さい。単位は mg/kg です。

(ACGIH)LD50 経皮(数値)：LD50 のデータがある場合に数字のみ入力して下さい。単位は mg/kg です。

(ACGIH)LC50 吸入蒸気(数値):LC50 のデータがある場合に数字のみ入力して下さい。単位は ppm です。GHS 規定では mg/L ですが、i.Bou-GHS では ppm で設計しておりますので、ご注意ください。

(ACGIH)LC50 吸入気体(数値):LC50 のデータがある場合に数字のみ入力して下さい。単位は ppm です。
(ACGIH)LC50 吸入粉塵/ミスト(数値):LC50 のデータがある場合に数字のみ入力して下さい。単位は mg/L です。

皮膚非加成性: 加成方式が適用できないと考えられる無機塩類、アルデヒド類、フェノール類、界面活性剤などで、且つ皮膚腐食性刺激性区分が1から3の成分はここに✔点を入れてください。

[成分情報4]タブ

眼非加成性: 加成方式が適用できないと考えられる無機塩類、アルデヒド類、フェノール類、界面活性剤などで、且つ眼損傷性刺激性区分が1から2の成分はここに✔点を入れてください。

生殖毒性(授乳): 授乳追加区分に該当する成分はここに✔点を入れてください。
毒性乗率(急性)/(慢性):水生環境有害性急性毒性/慢性毒性

が区分1の場合にのみ、この欄に数値を入力して下さい。
入力する数値は L(E)C50 により決定します。決定方法は下記の通りです。

L(E)C_{50} 値 （mg/L）=ppm	毒性乗率M
0.1＜L(E)C_{50}≦1	1
0.01＜L(E)C_{50}≦0.1	10
0.001＜L(E)C_{50}≦0.01	100
0.0001＜L(E)C_{50}≦0.001	1000
0.00001＜L(E)C_{50}≦0.0001	10000

特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）タブ

臓器毒単1や臓器毒単2の欄には対象臓器名をプルダウンメニューから選択してください。

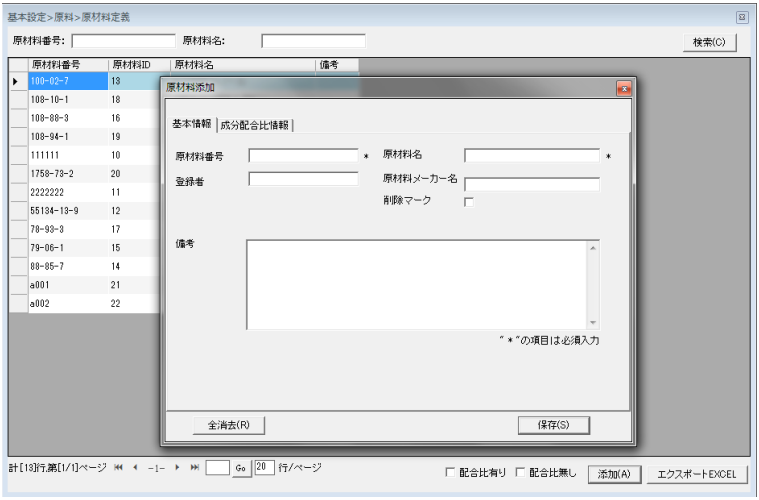
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）タブ

臓器毒復1や臓器毒復2の欄には対象臓器名をプルダウンメニューから選択してください。

上記を入力後保存ボタンを押して保存してください。

6. 基本設定－原料

a） 原材料定義



画面の右下の「添加」ボタンを押すと、新規追加入力画面が現れます。又、原材料定義画面の原材料にカーソルを合わせ、右クリックして編集を選択すると、入力済の原材料の編集画面が表示されます。又右クリックして「この原材料を含有する中間品と製品の検索」を選択すると、逆引き検索が出来ます。原材料定義を入力される時は、下記の点にご注意ください。

[基本情報]タブ

原材料番号:　数字、英文字、またはその組み合わせで入力して下さい。入力必須です。

原材料名:SDS　やラベルには直接ないので、日本語で入力でOK です。必須入力です。

登録者、原材料メーカ:参考情報ですので、入力しなくても結構

です。

削除マーク：　✔点を入れますと、この原材料は原材料定義画面には表示されますが、ほかの画面から参照した時には表示されなくなります。

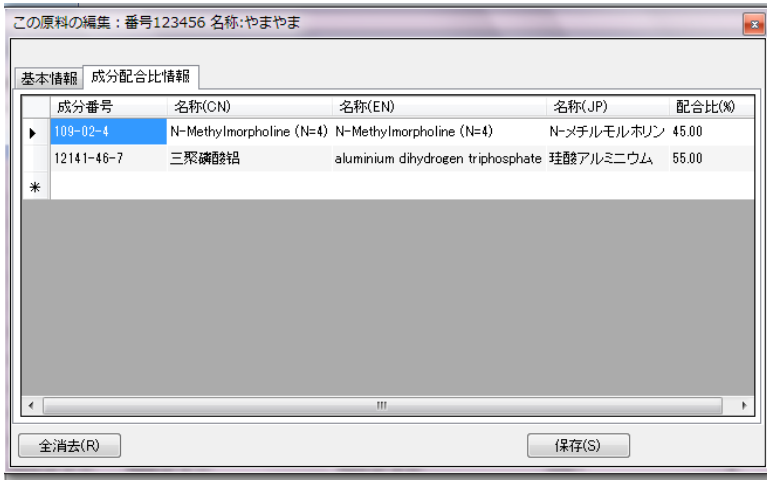
[成分配合比情報]タブ

成分番号の下の欄にカーソルをあて、右クリックをすると成分選択画面が表示されます。

画面下の検索欄に成分名称か成分番号（＝CAS 番号）を入力して、**Enter キィを押して**検索します。

検索対象の成分が表示されますので、成分選択欄に✔点をつけ、**配合比%に数字を記入し**、インポートボタンをクリックしてください。下図参考。

成分配合比情報の入力が終わりますと、保存ボタンを押してください。



b）中間品定義:

[基本情報]タブ

中間品番号: アルファベットと数字を使用して自由に決めて入力して下さい。入力必須です。

中間品品種: 製品品種のところで定義されたものが、プルダウンメニューに表示されます。このメニューの中から選択してください。入力しなくても OK です。

中間品名称: 中間品の名称を入力して下さい。英文、漢字、日本語、数字なんでも OK です。 この名前は SDS やラベルには出てきません。入力必須です。

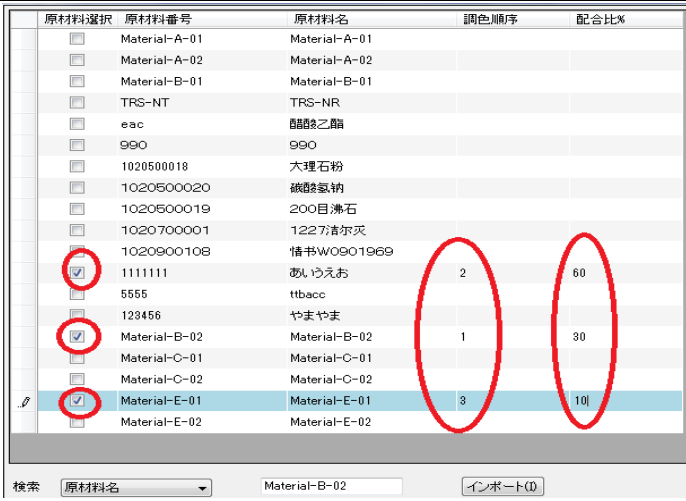
削除マーク: ✔点を入れますと、この中間品は中間品定義画面には表示されますが、ほかの画面から参照した時には表示されなくなります。

入力が終わると、次に原料配合表タブを左クリックします。

原料配合表タブ

配合順序の下の欄にカーソルを置き、右クリックをすると、原材料選択画面が表示されます。画面の下部にある検索機能を使って、原材料名か原材料番号を入力し **Enter キィーを押す**と、検索します。 原材料選択欄に✔点を入れ、右の調色順序、配合比%に数値を入力して下さい。 調色順序とは、原材料を混合して中間品を作る時の、混ぜる順番のことです。

全てを入力したら右下のインポートボタンをクリックしてください。



上述のインポートボタンを押しますと、下図の中間品添加画面が現れますので、右下の保存ボタンを押してください。

7. 基本設定－製品

a）製品類型： 製品に種類があるときに記入して下さい。これは参考情報であり SDS やラベルの作成には影響しません。

b） 製品品種： 製品が品種に分かれている場合、製品品種として定義してください。これは参考情報であり SDS やラベルの作成には影響しません。

c）製品定義：製品定義には二つの方法があります。一つは直接製品を定義する、もう一つは試作品経由の定義です。業界によっては、多数の試作品を作って、その中の一部が製品化されるケースがあります。そのような業界では、試作品に対しても SDS が必要です。i.Bou-GHS では、試作品の定義から製品の定義を作成することも可能にしております。

直接定義タブ

右下の添加ボタンをクリックしますと製品添加画面が表示されます。

[基本情報]タブ

製品番号：半角アルファベットや数字から構成される番号を入力して下さい。必ず入力して下さい。

製品名： 英文字と数字を使い、単独でも組み合わせでも OK です。必ず入力して下さい。ここに入力された製品名はラベル

上に英文表記として表示されます。又、SDS の第 1 項目にも表示されます。

製品名（従）： 中文で入力してください。ラベル上に中文表記として英文表記の下に表示されます。

製品有効期限： ラベル上の使用期限の計算に必要です。3,6,12,24 ヵ月の中から選択してください。必須入力項目です。

製品品種：フルダウンメニューから選択してください。入力しなくても OK ですが、製品の検索の際に便利ですから、可能なら入力して下さい。

引火点：i.Bou-GHS は、製品の引火点を使って、引火性液体の判定を行いますので、可能な限り入力して下さい。 単位は℃です。

PH ： i.Bou-GHS は、皮膚腐食性刺激性、眼に対する損傷性刺激性の判定に製品の PH を使いますので、アルカリ性や酸性の製品の場合は可能な限り入力して下さい。

化学品の状態：i.Bou-GHS は、製品の通常の状態が気体、液体、固体の情報を使って、物理化学危険性に対する分類対象外の判定を行います。また、呼吸器皮膚感作性の判定にも利用します。従い、この項目は必ずプルダウンメニューから、該

当するものを選択してください。

動粘性： i.Bou-GHS は、製品の動粘度を、吸引性呼吸器有害性の判定に利用します。単位は mm2/s at 40℃です。可能な限りご入力ください。

水溶性： SDS の9番物理的及び化学的性質の溶解度のところに関係しますので、製品が水溶性であれば、✔点をつけてください。

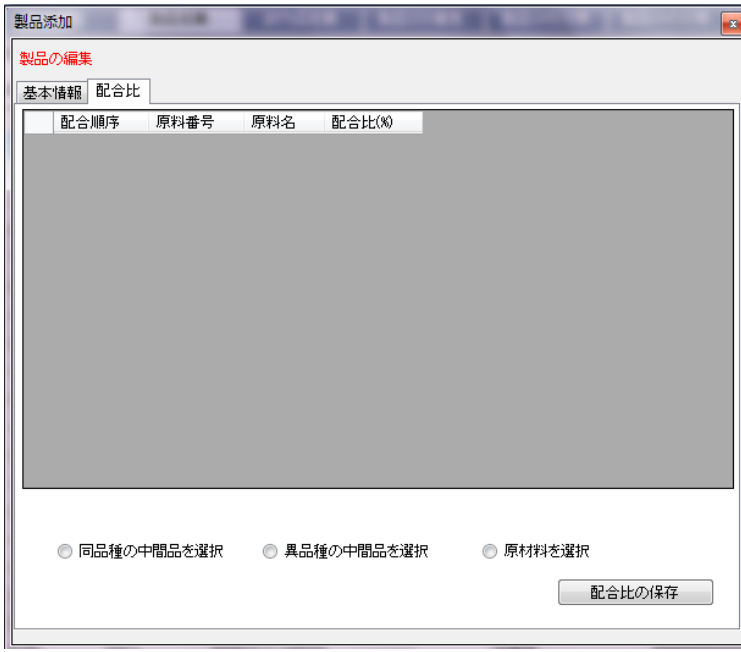
削除マーク： ✔点を入れますと、この製品は製品定義画面には表示されますが、ほかの画面から参照した時には表示されなくなります。

製品定義の其の他の項目： すべて参考情報です。 入力しなくても OK です。

情報を入力後、基本情報の保存ボタンをクリックして保存してください。

[配合比]タブ

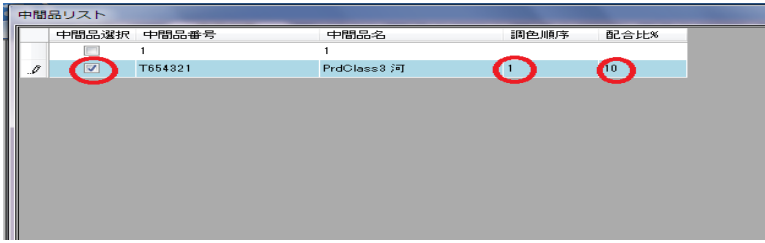
製品は原材料のみでも構成できますし、原材料と中間品とでも構成できます。



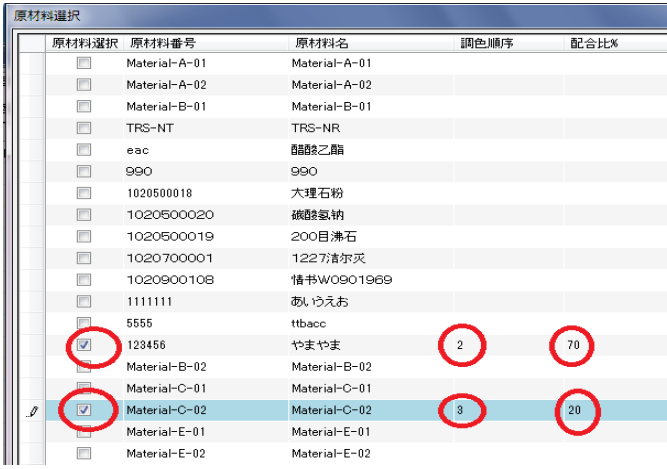
配合比を構成する中間品の品種が、製品の品種と同じ時は「同品種の中間品を選択」をクリックすると、製品の品種と同じ中間品が検索されて、別画面に表示されます。
「異品種の中間品を選択」をクリックすると、製品の品種と異なる品種をもつ中間品が検索されて、別画面に表示されます。
「原材料を選択」すると、原材料が別画面に表示されます。
必要な中間品や原材料を選択し、配合順序と配合比を入力し

て下さい。画面の下部にある検索機能を使って検索する時は、原材料名、原材料番号、中間品名、中間品番号などを入力し **Enter キィーを押す**と、検索します。

中間品を選択した例

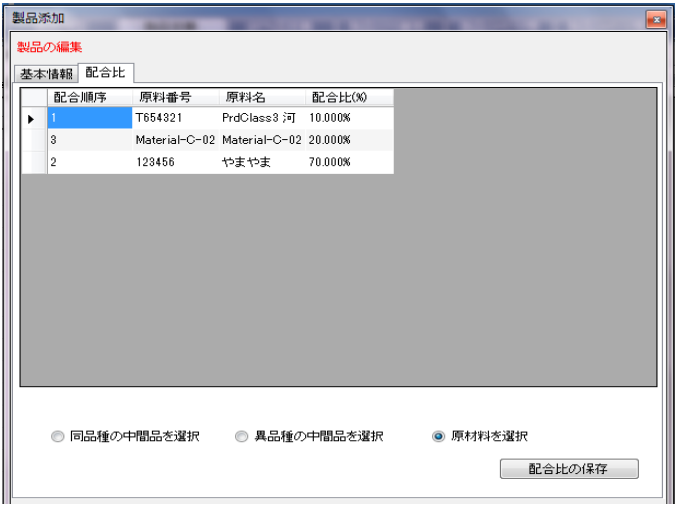


原材料を選択した例



選択後右下のインポートのボタンをクリックしてください。

配合比がインポートされた例



配合比が完成したら、右下の配合比の保存ボタンをクリックしてください。

[国連関係] タブ

a) 国連番号： 製品に該当する国連番号を入力して下さい。

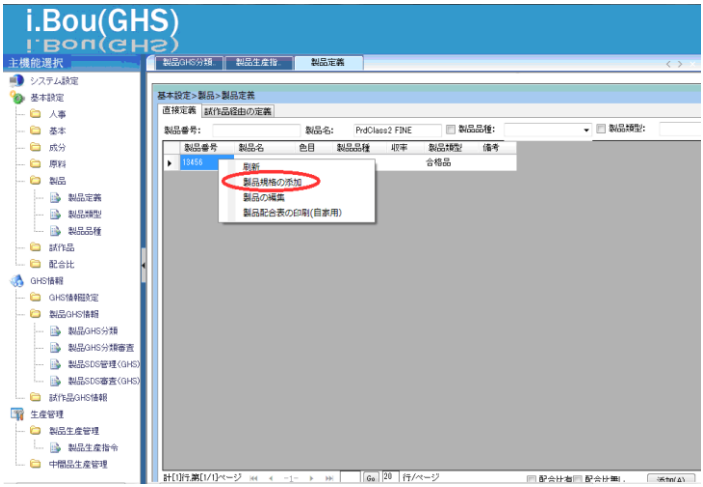
b) 国連輸送名： 製品に該当する国連輸送名を入力して下さい(中国語 SDS を作成する場合は、ここには中国語名を記入してください。)

c) 国連分類・容器等級： 製品に該当する番号を入力してください。

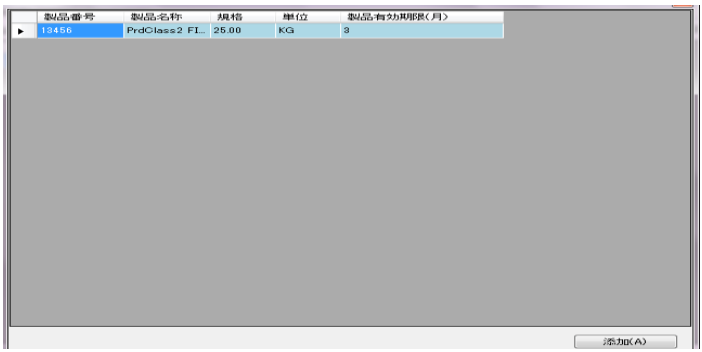
d) 海洋汚染物質：製品が該当する場合は、該当に◉を入れてください。

次に、定義を完了した製品の、製品規格（パッケージの容量のこと）を添加します。

定義を完了した製品にカーソルをあわせ、右クリックをして、「製品規格の添加」を選択してください。

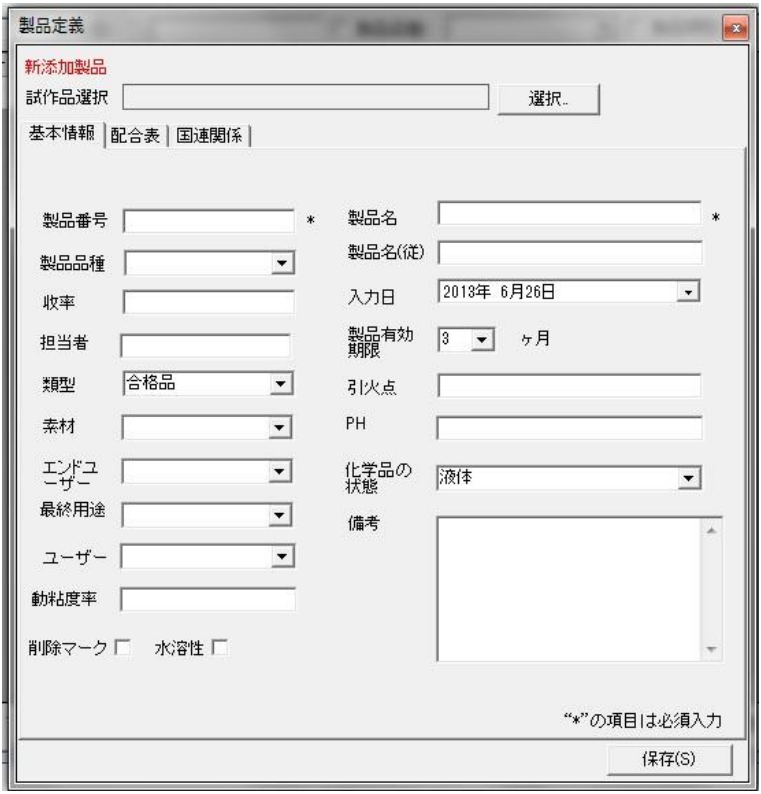


一つの製品に、複数の規格を添加できます。



試作品経由の定義タブ

右下の試作品経由の添加ボタンをクリックすると、製品定義画面が表示されます。



上部の試作品選択のところで試作品を選ぶと、その試作品を定義した基本情報と配合表の内容がコピーされて表示されます。

このあとの手順は上述の直接定義とほぼ同じですので省略します。

8. 基本設定－試作品

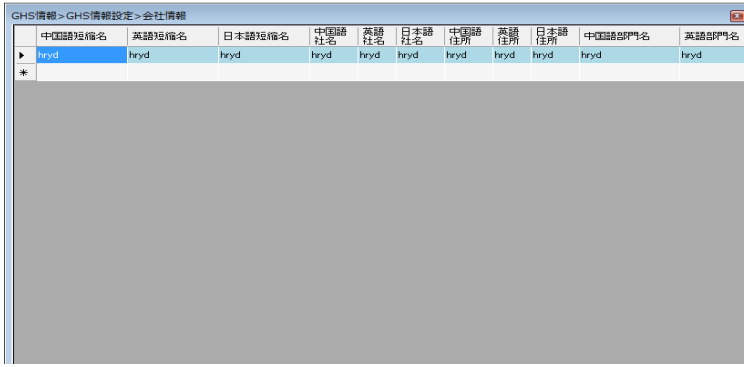
手順は製品と同じですので、説明は省略します。

9. GHS 情報－GHS 情報設定

a) GHS 言語選択

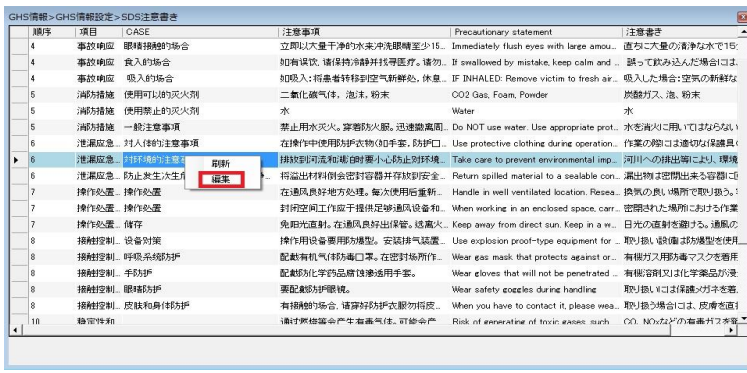
中国語、英語、日本語が選択できます。選択された言語でラベルや SDS が作成されます。

b) 会社情報設定



中国語、英語、日本語で会社のフルネーム、略称、住所、電話番号、FAX 番号などを入力してください。ここに入力された情報が SDS の会社情報として表示されます。　尚、会社の短縮名は、中国語、英語、日本語の 3 つの欄に必ず入力してください。3 か所に入力しないとエラー表示が出ますのでご注意ください。

c) SDS 注意書き



この画面で設定する注意書きは、SDS の固定文として表示されます。従い SDS の注意書きに関して、貴社特有の表現があれば、この画面で文章を変更してください。ブルー色の行にマウスポイントを合わせて右クリックすると、メニューが表示されますので「編集」を選択すると、注意書きの編集画面が出てきます。

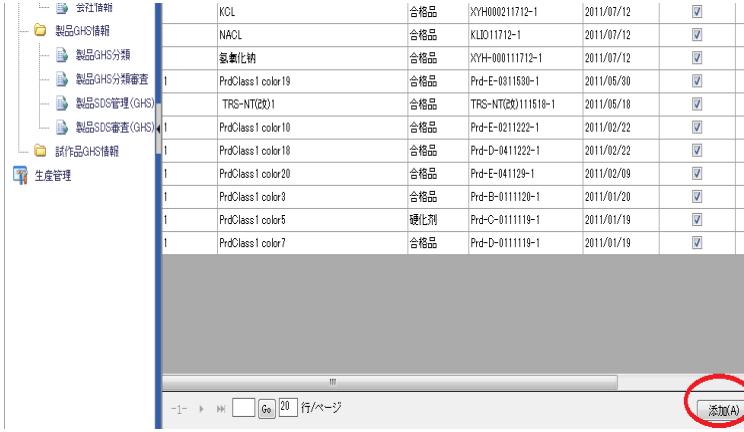
変更の場合は、中国語、英語、日本語の全てを然るべく変更してください。 中国語や英語の文章作成がご面倒な方は、弊社にご相談ください。別料金ですが、翻訳サービスもございます。ここの記載した注意書き固定文が、SDS のどの場所に、どのようなルールで反映されるか詳しい情報をお知りになりたい方は、弊社代理店に「SDS Format」の提供をご要求ください。

10. GHS 情報－製品 GHS 情報

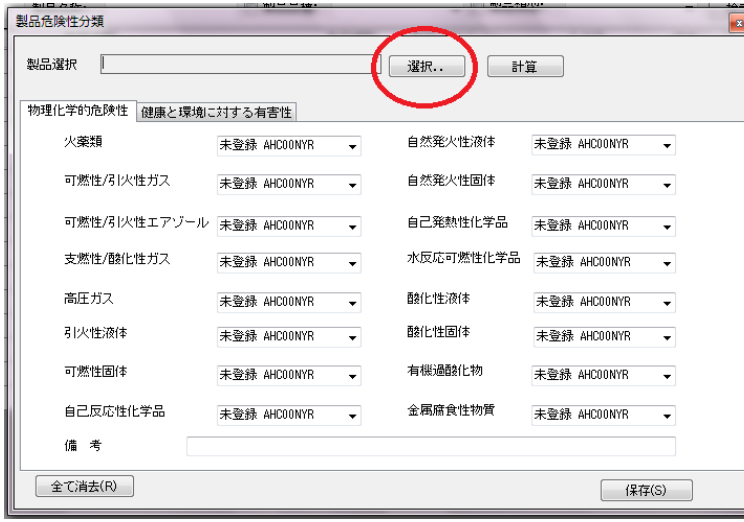
この機能で、GHS ラベルと SDS を作成します。 順序は GHS 分類計算－ラベル作成－SDS 作成です。機能の概要は、担当者が「製品 GHS 分類」で GHS 分類計算を行い、この分類結果を高級権限者が、「製品 GHS 分類審査」で審査を行います。審査が終了しますと、その製品の GHS ラベルの印刷が、可能になります。そのあと、担当者が「製品 GHS 管理」で、ラベル情報を利用して SDS の作成を行い、それを高級権限者が、「製品 SDS 審査」で審査を行います。審査が終了しますと、SDS の印刷が可能になります。

i.Bou-GHS は、GHS 分類をバージョン管理しております。従い、もし何かの理由で、その製品の GHS 分類が変わったときは、再度 GHS 分類計算を実行していただくと、新しい製品 GHS バージョンが記録されます。i.Bou-GHS では、GHS ラベルや SDS は、常に最新の製品 GHS バージョンを使用して作成されます。

a) 製品 GHS 分類: 画面右下の添加ボタンをクリックすると、製品危険性分類画面が表示されます。


会社情報
製品GHS情報
製品GHS分類
製品GHS分類審査
製品SDS管理(GHS)
製品SDS審査(GHS)
試作品GHS情報
生産管理
KCL 合格品 XYH000211712-1 2011/07/12
NACL 合格品 KLIO11712-1 2011/07/12
水酸化ナトリウム 合格品 XYH-000111712-1 2011/07/12
1 PrdClass1 color19 合格品 Prd-E-0311530-1 2011/05/30
TRS-NT(2t)1 合格品 TRS-NT(2t)111518-1 2011/05/18
1 PrdClass1 color10 合格品 Prd-E-0211222-1 2011/02/22
1 PrdClass1 color18 合格品 Prd-D-0411222-1 2011/02/22
1 PrdClass1 color20 合格品 Prd-E-041129-1 2011/02/09
1 PrdClass1 color3 合格品 Prd-B-0111120-1 2011/01/20
1 PrdClass1 color5 硬化剤 Prd-C-0111119-1 2011/01/19
1 PrdClass1 color7 合格品 Prd-D-0111119-1 2011/01/19
Go 20 行/ページ
添加(A)

製品危険性分類画面

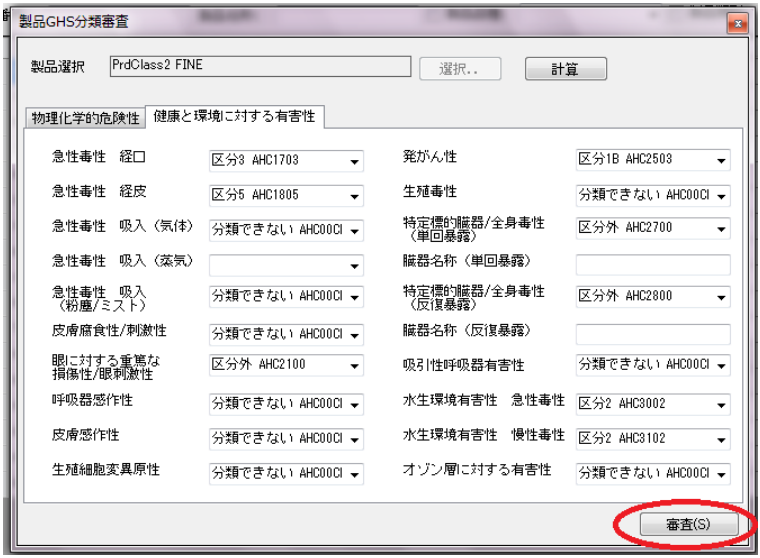

製品危険性分類
製品選択
選択..
計算
物理化学的危険性
健康と環境に対する有害性
火薬類 未登録 AHCOONYR
可燃性/引火性ガス 未登録 AHCOONYR
可燃性/引火性エアゾール 未登録 AHCOONYR
支燃性/酸化性ガス 未登録 AHCOONYR
高圧ガス 未登録 AHCOONYR
引火性液体 未登録 AHCOONYR
可燃性固体 未登録 AHCOONYR
自己反応性化学品 未登録 AHCOONYR
自然発火性液体 未登録 AHCOONYR
自然発火性固体 未登録 AHCOONYR
自己発熱性化学品 未登録 AHCOONYR
水反応可燃性化学品 未登録 AHCOONYR
酸化性液体 未登録 AHCOONYR
酸化性固体 未登録 AHCOONYR
有機過酸化物 未登録 AHCOONYR
金属腐食性物質 未登録 AHCOONYR
備 考
全て消去(R)
保存(S)

選択ボタンをクリックして、対象製品を選択してください。製品の選択が完了したら、となりの計算ボタンを、クリックしてください。GHS 分類の計算を実施します。計算結果を確認後、もし問題があれば、その部分を手動で変更し、もし問題がなければ、そのまま右下の保存ボタンをクリックしてください。

b) GHS 分類審査

先ほど保存した製品分類が、画面上に表示されています。

審査マークとラベル生成マークに、✔点がついてないので、審査もラベル生成も、未完成であることがわかります。
審査をする製品にカーソルを合わせ、右クリックをして「この製品の GHS 分類の審査」を選択してください。

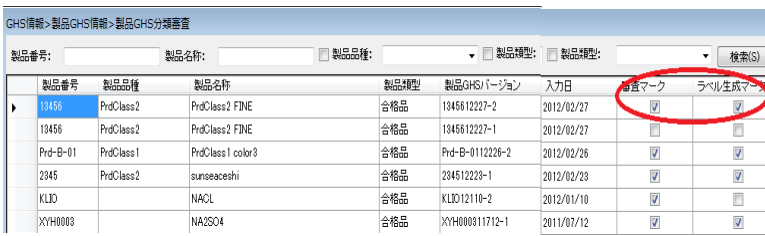


分類結果に問題がなければ、審査のボタンをクリックしてください。もし問題があれば、内容を然るべく変更後、審査のボタンをクリックしてください。審査が終了しますと、審査マークに✔点が付きます。

次は同じ製品のところにカーソルをあわせて右クリックして「GHS ラベルの生成」を選択してください。

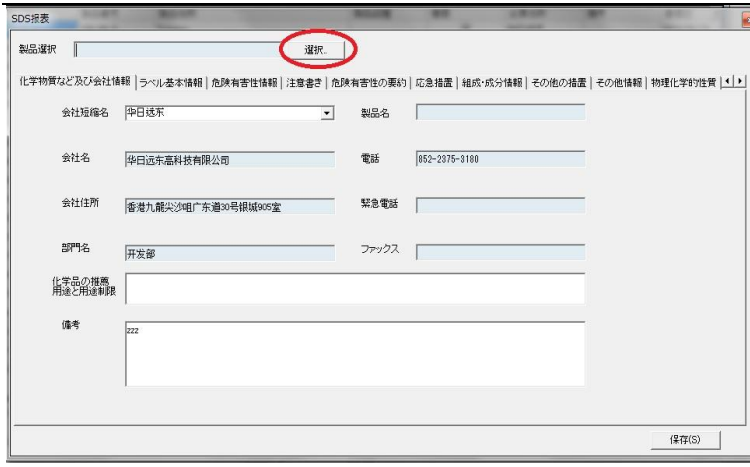
生成するラベルの言語を選択してください。選択が終わると、GHS ラベル生成の画面が表示されます。

基本タブ、危険有害性情報タブ、注意書きタブの情報には✔点が付いています。高級権限者が不要と判断される情報があれば、その✔点をはずしてください。
また、この段階で危険有害性情報と注意書きの内容の編集が可能です。編集する場合は、3 か国語とも然るべく編集してください。
完了しましたら、右下の保存をクリックしてください。保存が完了すると、ラベルの印刷が可能になります。
以上の作業が終わりますと、製品 GHS 分類の審査マークとラベル生成マークに✔点が付きます。

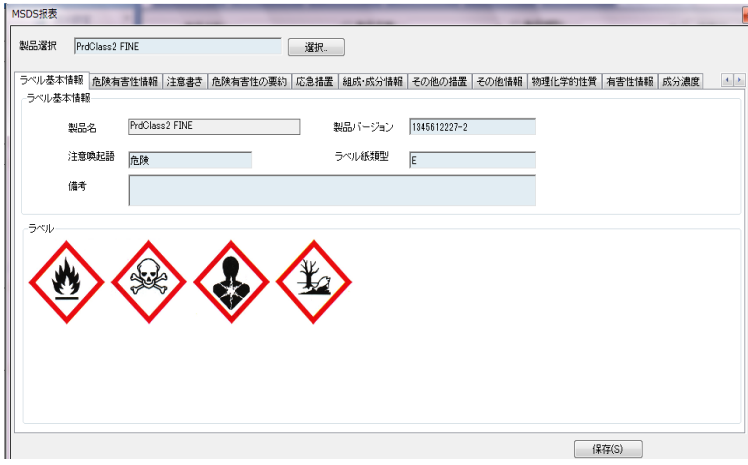


c）製品 SDS 管理

右下の添加ボタンをクリックしてください。SDS の作成画面が表示されます。 SDS を作成する製品を選択してください。

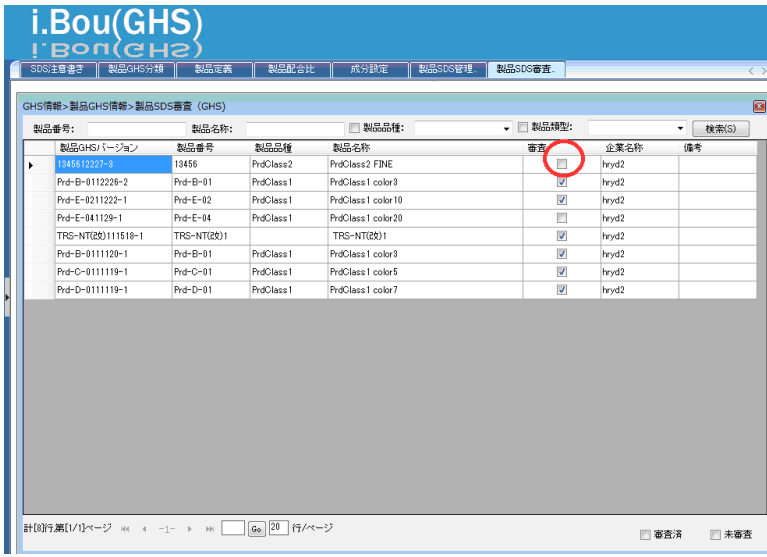


製品を選択しますと、その製品の SDS 内容を表示します。

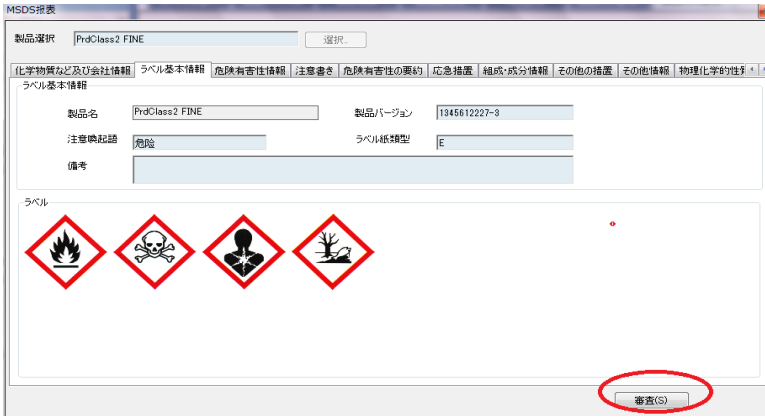


この画面の中で、「化学品の推薦用途と用途制限」を中国語で入力すると、SDS の第 1 項目に反映されます。その他に変更が可能な部分は、物理化学的性質タブの内容です。製品の性質を然るべく入力して下さい。
入力が完了すると、右下の保存ボタンをクリックして保存してください。

d）製品 SDS 審査
審査が終わっていない SDS には、審査マークに✔点が付いていません。



審査をする製品にカーソルをあわせ、右クリックをして「審査」を選択してください。
審査画面が表示されますので、高級権限者が内容を確認の上、問題なければ右下の審査ボタンをクリックしてください。



審査が終わると審査マークに✔点が付きます。つぎは製品にカーソルを合わせて、右クリックをして、「印刷　SDS」を選んでください。SDS をエクセルで自動作成します。

11. GHS 情報－試作品 GHS 情報

操作方法は、上述の製品 GHS 情報と同じですので、説明は省略します。

生産管理

GHS ラベル上に、ロット番号、有効期限、入れ目、GHS ラベルの通し番号などの情報が必要な時は、生産の都度この機能を使って、必要情報を生成して GHS ラベルに反映してください。但し、この機能は、前述した GHS 分類審査が、完了した製品にしか使用できません。

12. 生産管理－製品生産管理—製品生産指令

1）右下の添加ボタンをクリックすると、製品生産指令の添加画面が表示されます。

製品選択ボタンをクリックして、GHS ラベルを印刷したい製品を選択してください。

製品定義に定義されているのに、検索をしてもこの画面に、その製品が表示されない場合は、製品定義の時に、製品規格の添加を忘れているからです。この場合は、製品定義の画面に戻り、製品規格を添加してください。

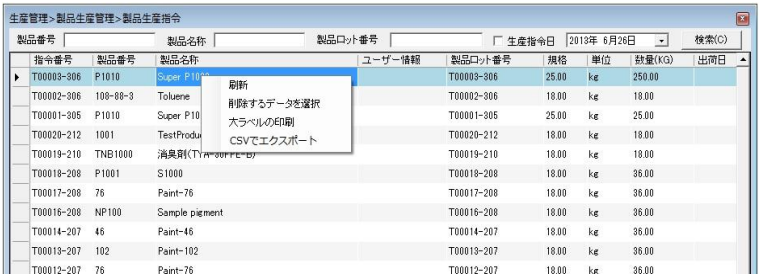
GHS ラベル印刷をしたい製品を選択したら、下記の画面が表

示されます。

製品ロット番号、生産数量、生産指令日、完成予定日、などを入力し、右側の保存ボタンをクリックしてください。もし製品 GHS ラベルに生産日や使用期限の情報が必要でしたら、生産指令日を設定してください。ラベルに表示される生産日は前述の生産指令日です。ラベルに表示される使用期限は、製品定義で

入力された有効期限を、生産指令日に加算して表示されます。

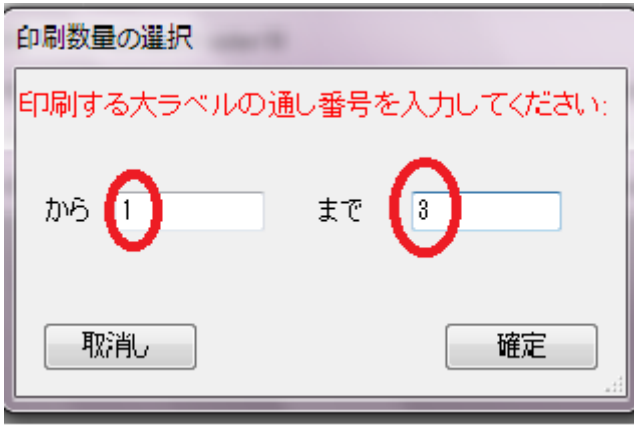
製品生産指令の画面に戻ると、保存した生産指令が表示されています。



製品名のところにカーソルをあわせ、右クリックをすると、刷新、削除するデータを選択、大ラベルの印刷、CSV でエクスポートの 4 項目のメニューが表示されます。

2)「大ラベルの印刷」

「大ラベルの印刷」を選択すると、印刷数量の指定画面が表示されます。



この例では通し番号を1から3までと指定しています。3枚のラベルが1，2，3の通し番号で、GHS ラベルがエクセル表で作成されます。カラーレーザプリンタに GHS ラベル用紙を入れて、このエクセル表を使って印刷してください。

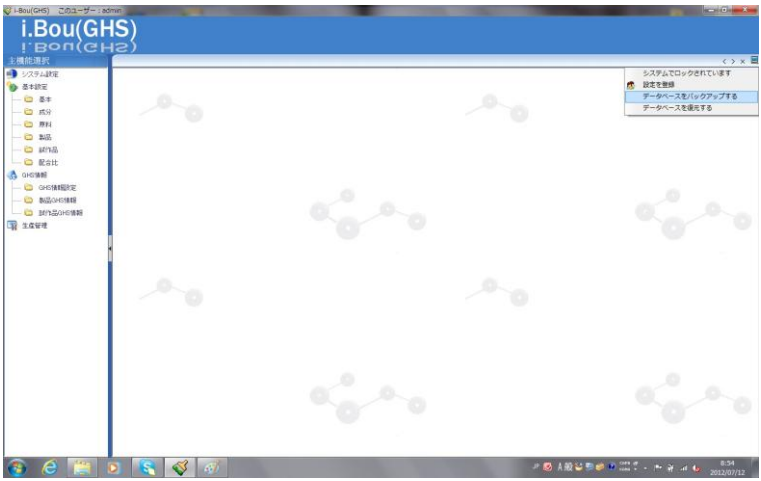
3） CSV でエクスポート

弊社が提携している日本エレクトロニクス工業（株）のラベル専用プリンタに、i.Bou-GHS で作成したラベルデータを、CSV 形式でインポートできます。OEM 製造などで、製品のラベルデザインが多種類ある場合には、非常に便利で且つ作業効率が格段に上昇します。

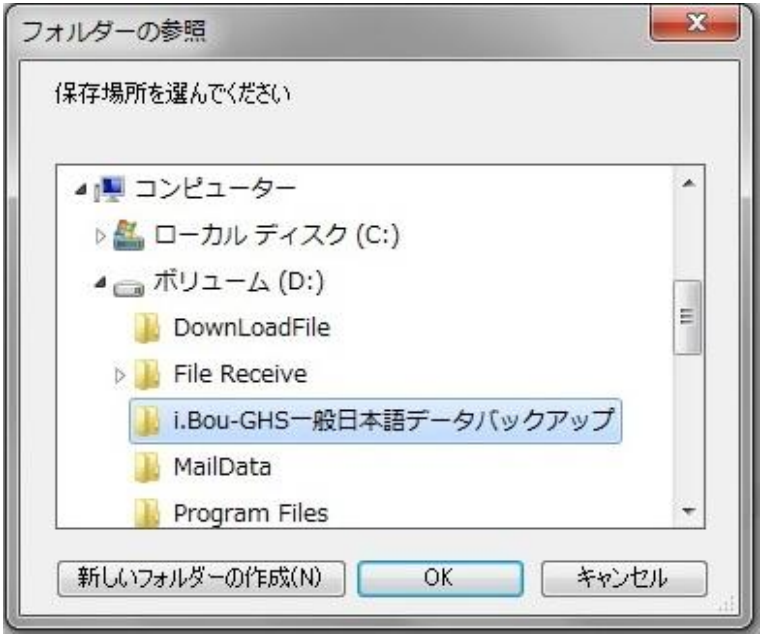
13. データのバックアップ

i.Bou-GHS では、購入時から付保されていた成分データ及びあなたが作成した様々なデータを、データベースごとまるまる簡単にバックアップして、あなたが指定するフォルダに保存する機能がついています。バックアップデータには、バックアップした時の年月日が自動的についていますので、データの履歴を残すことができます。バックアップ方法を下記に示します。

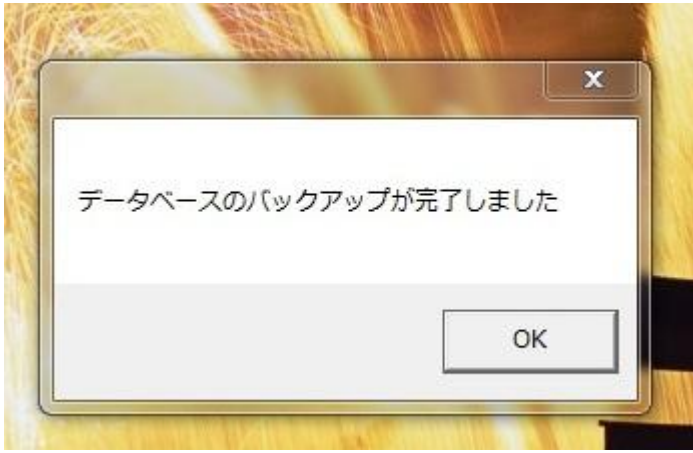
1. i.Bou-GHS のホーム画面右上にある、ディスプレーのマーク を左クリックして、表示されるプルダウンメニューから“データベースをバックアップする”を左クリック。



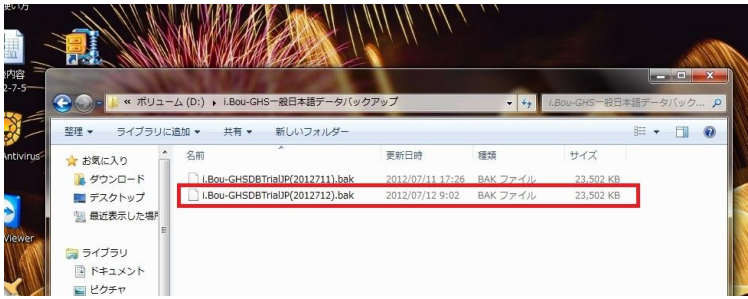
2. バックアップファイルの保存場所を、選択する画面が表示されるので、あなたが、このバックアップ用に作成したフォルダを指定する。



3. 上図の「OK」ボタンを左クリックすると、バックアップ完了のメッセージが表示される。



4. あなたが、上記（2）で選択したフォルダに、BAK フォーマットでバックアップファイルが、保存されています。ファイル名には、バックアップ時の年月日も、自動で入っています。

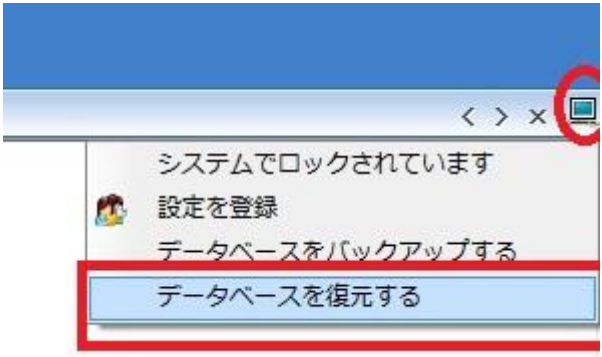


14. データの復元

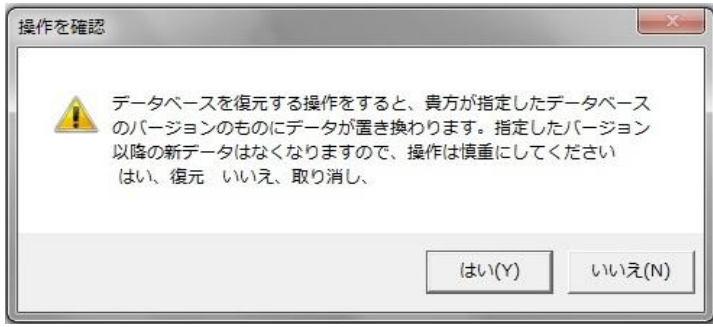
i.Bou-GHS では、既に保存されたバックアップファイルを使って、データをバ

ックアップファイルの内容に、簡単に復元する機能がついています。
復元方法を下記に示します。

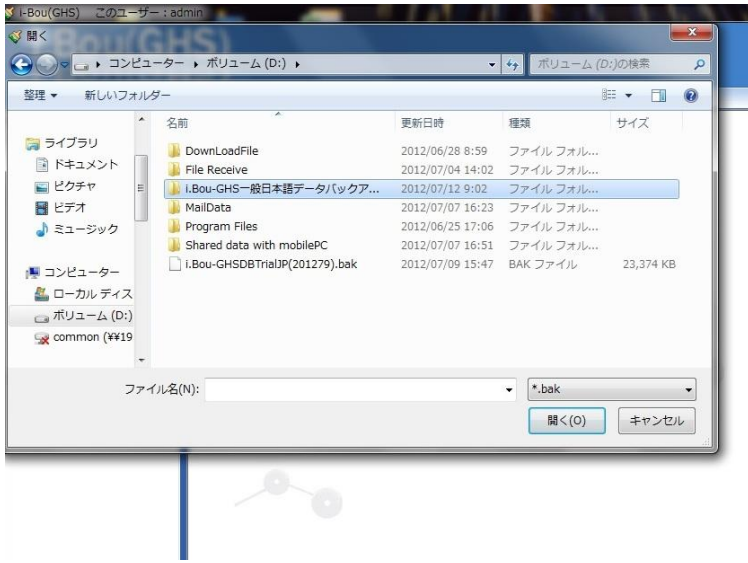
1. 画面右上の を左クリックして、“データベースを復元する”を左クリックする。



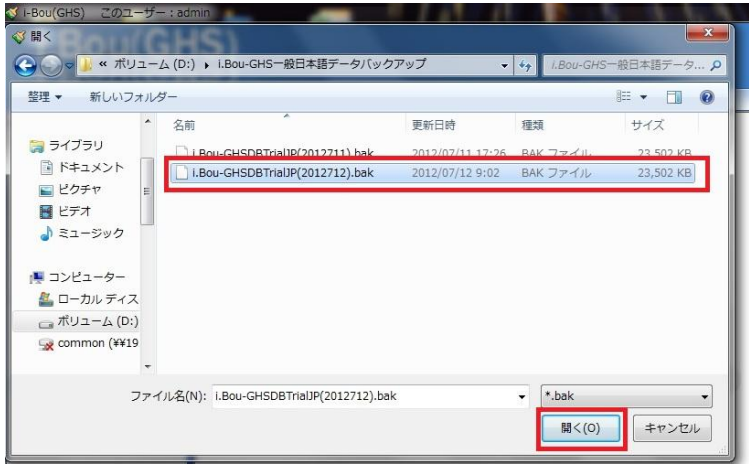
2. 復元に使用するバックアップファイルの作成以降に入力したデータは、なくなるので注意してください、という意味の警告が出ます。復元するなら「はい」を、やめるなら「いいえ」を選択して左クリック。



3. 「はい」をクリックすると、復元に使用するバックアップファイルのフォルダを、選択する画面になるので、あなたが既に保存したフォルダを、選択する。



4. 復元に使用するバックアップファイルを選択して、画面右下の「開く」ボタンを左クリック。



5. 復元が完了した旨表示される。

6. 自動的にi.Bou-GHSからログオフして、再度ログオン画面が出現する。

USBドングルに対する取扱についての注意事項:

USBドングルはi.Bou-GHSの稼働には必要不可欠ですので、管理を厳重にして紛失や故障には十分にご注意ください。USBドングル表面のラベルを剥がした場合や、不注意や不正常な使用による USBドングルの故障などに対しては、弊社は免責とします。基本的には、USB ドングルの再発行には応じない方針ですが、前述に該当しない故障に対しては、故障した現物を弊社にご送付いただき、弊社で検査の結果妥当と判断する場合にのみ、USBドングルの交換に応じます。

サービス番号：

お買い上げいただいた i.Bou-GHS のアップデートに関するお問い合わせの際は、パッケージケースの内側に貼付してあるサービス番号も一緒にご連絡ください。

連絡方法

華日遠東高科技有限公司
日本人担当者：畠中（日本語、英語可）
中国人担当者：千亮 （中国語可）
电话：86-10-8774-8105
传真：86-10-8774-8207
E-mail：acbt@asia-concorcd.com
hatanaka@asia-concord.com
URL：http://www.msds-ghs.com
http://www.asia-concord.com

何か疑問がございましたら上記のメールアドレスにご連絡ください。本取扱説明書の解釈権は華日遠東高科技有限公司に帰属します。